

## (2) 緊急プラン(素案)に対する市民意見(子ども関係)

「市立幼稚園授業料改訂」「市立幼稚園入園料の新設」「市立幼稚園を再編統合し、待機児対策など他の子育て支援に転換」などについて、同種の意見が多く寄せられており、同じ回答内容になるため、初めに基本的な考えを示します。

### 「市立幼稚園授業料改訂」に対する意見

幼稚園授業料は、月額11千円が1市、10千円が3市、9千円が1市、8千円(本市)が1市、7千円が1市で、本市の幼稚園授業料は低額です。  
市立幼稚園授業料は、平成12年4月に現行の月額8,000円に改訂され現在に至っています。この間、物価及び人件費等の上昇があり、私立幼稚園の授業料との格差が拡大してきています。また、他市町の幼稚園授業料の動向をみると、本市の幼稚園授業料は低額です。  
幼稚園は、授業料と税金で運営されていますが、人件費、物件費等の運営管理費は年々増額となっており、その分は、税金での負担となっています。  
幼稚園授業料の改訂については、適正な受益者負担額を算出し、平成22年度実施に向け検討を行います。検討に際しては、経済的に困窮している家庭の負担軽減策のあり方についても併せて検討します。

### 「市立幼稚園入園料の新設」に対する意見

入園料は北摂7市のうち、徴収している市は5市、徴収していない市は本市を含め2市で、入園料の最高額は9千円、最低7千円です。  
市立幼稚園入園料は、かやの幼稚園が、本市では最初の幼稚園として昭和47年4月開園され、当時から入園料を設定せず現在に至っています。  
その一方で、私立幼稚園は6万円から7万円の入園料を徴収し、年次的に増額しているため年々公私間較差が拡大しているとともに、他市町の公立幼稚園においては入園料を徴収しており、その動向を見ると本市公立幼稚園との乖離は大きくなっています。  
幼稚園は、授業料と税金で運営されていますが、保育の場である幼稚園施設の経年変化による補修等経費は年々増加しており、税金での負担が増えています。  
入園料の新設については、適正な受益者負担額を算出し、平成22年度実施に向け検討を行います。検討に際しては、経済的に困窮している家庭の負担軽減策、年度途中入園の徴収のあり方についても併せて検討します。

### 「市立幼稚園を再編統合し、待機児対策など他の子育て支援に転換」に対する意見

市立幼稚園の園児数は少子化の進展により減少しており、この5年間では、平成16年5月1日552人、平成20年5月1日では467人と85人減少しています。  
一方で共働き世帯の増加、核家族化などの要因により保育所需要は年々増加し、保育所に入れない待機児対策が緊急の課題となっています。平成16年4月の保育所申込数1,267人に対し、平成20年4月は、1,320人と増加しており、今後も増える見込みです。  
また、平成21年4月の待機児童数は59人であり、この人数は年度の後半に向けて増加していきます。  
これまで、公立保育所の定員増及び民間保育所の増設などの方法により定員を増やしていますが、ニーズの増加に十分な対応ができていません。  
このような状況から、就学前の子どもの教育・保育をともに充実させる視点から、同じ乳幼児の保育を行う施設として幼稚園と保育所の役割の整理を行い、既存幼稚園の施設の活用により保育所ニーズに応えていくことも選択肢の一つであると考えます。併せて、市立幼稚園と私立幼稚園の役割も考慮しつつ幼稚園のあり方全体について検討を重ねていきます。

| No.             | 種別  | 意見  | 市の考え方   |
|-----------------|-----|---|---|
| 011～050、125～133 | 子ども | アンケート形式により提出されたものを集約いたしました。<br>・市立幼稚園授業料の改定、入園料の新設について「反対」47、「どちらとも言えない」1、「賛成」0<br>・幼稚園の再編統合について「反対」36、「どちらとも言えない」3、「賛成」8 |   |
| 022             | 子ども | ・その他(子育てに優しい箕面市であってほしいです。子育てに関する費用は上がってほしくないし、施設もよりよき場所になるよう配慮してほしいです。)   |   |
| 027             | 子ども | ・その他(市立幼稚園のメリットがなくなれば、私立幼稚園に流れていく可能性が多いと思います。そうなれば次は援助金の減額を検討し親の負担を大きくするのですか?)  | ゼロ試案では、私立幼稚園児保護者補助金についても見直し項目にしており、市単独の保護者補助金について、補助対象となる保護者の所得階層や補助額等について、国制度の動向を踏まえながら平成22年度に向けて見直していきます。   |
| 028             | 子ども | ・その他(トンネル通行料を低くし、たくさんの方が利用しやすくすれば薄利多売で結局財源になっていくのでは、トンネルポンプの代償を市民が払っていかなければならないのはおかしいと思う。)                                | 箕面トンネル(箕面グリーンロード)は、大阪府道路公社により整備運営され、通行料等についても、当該公社が決定しています。その為要望書の提出や府議会議員を通しての依頼、市長から橋下知事へ直接依頼した結果、5月23日(土)・24日(日)・30日(土)・31日(日)の4日間500円で通行できるようになりました。今後も大阪府道路公社に対し要望していきます。  |
| 030             | 子ども | ・その他(施設統廃合、料金改定など家計をあっぱくし、ますます子育てが大変になり、子供を産みたいとおもっている人達も考えるようになる。)   |   |
| 031             | 子ども | ・その他(歳出改革は、ターゲットを幼稚園にせず他にもあるはず…)  | 「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか?もっと他にも改革すべき事業があるのでは?」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。  |
| 033             | 子ども | ・その他(高齢者や障害者だけではなく、子育て世代をもっと応援して頂きたい。予算をけずる所は、もっと他にもあるはずでは?たとえば、ゴミ袋の枚数を減らすとか…)  | 「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか?もっと他にも改革すべき事業があるのでは?」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。<br>現在、無料配布している「燃えるごみ」専用袋の無料配布枚数は、有料化前の排出量の10%減分で設定したのですが、平成19年度実績において、18%(対平成14年度比・1人1日あたり)の減量効果が出ており、一部の世帯において袋に余剰が生まれていることは確かです。ごみ減量の視点に基づき、将来的に、ご指摘のような無料配布枚数の削減を検討する必要があると認識していますが、有料袋を購入している世帯も依然として一定数以上あることから、今後、有料袋の販売枚数を参考に、また、ごみの減量、資源化など、本市の全体的な取り組み状況もあわせ、検討する時期を見極めていきます。 |
| 041             | 子ども | ・その他(重点施策の「子育てしやすさ日本一」に「市立幼稚園授業料」の改定、「入園料の新設」は反していると思います。)  | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。  |
| 044             | 子ども | ・その他(公立幼稚園の1番いい所は、授業料の安さと入園料がいらぬ所であると思うので、それがなくなったら、毎日送り迎えしてお弁当作ってまで公立に生かせない、私立に行かせます)                                    |   |
| 049             | 子ども | ・その他(子どもたちが安心してのびのびと遊べる場が市立幼稚園だと思うのでよく考えて頂きたい。)   |   |

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| 081 | 子ども | 幼稚園の再編統合について<br>幼稚園の再編統合に反対です。<br>幼稚園を、文部科学省と厚生労働省が進めている、認定こども園に変更できないか？<br>検討すべきです。説明会でも言われていましたが、保育園足りなくて、待機児童がいるとのこと。<br>待機児童解消の為に、認定こども園にすべきではないでしょうか？<br>また人口減少、都心回帰、高齢化が進むとされている世の中、箕面市も今までのように勝手に人口が増えたと胡坐をかかず、共稼ぎ子育て世代を受け入れ、定住化を図り、税収増を目標とするほか、箕面の次の世代を作っていく為にも、幼稚園の統廃合は廃止し認定こども園に御願います。それこそが、市長の公約である、子育てしやすさ日本一だと思います。 | 保育所待機児の対応につきましては、平成19年度に公立保育所で80名平成20年度には民営化した桜保育所で20名の定員増を行ったことなど一定の効果を上げているところですが、待機児の解消には至っていません。今後も待機児の解消に向け様々な視点から検討していきます。  |
| 104 | 子ども | 子育て支援をうたう市長さんのもとで<br>幼稚園の保護者負担増、修学援助基準の大幅引き下げ、市費負担の学校への講師配置の削減は、とてもひどいことだと思います。教育や子育ては未来を育てる事業です。もっと手厚い策が必要であり、削減はもってのほかだと思います。  | (8) 児童・生徒への就学援助は、対象世帯の増加や国庫補助金が廃止されたことにより、市の財政負担が大きくなっているため、他市の動向等も見ながら、対象世帯の所得要件について、H22年度に向けて見直しを図っていきます。なお、ゼロ試案にある就学援助の支給基準が「生活保護基準×1.0」というのは、生活保護世帯のみを対象とするものではなく、同等所得の世帯をも対象とすることを想定していません。<br>(17) 広範で、複雑多様化し、深刻化している最近の小中学校での様々な生徒指導上の課題に対して、生徒指導担当者授業支援員が配置されることで、生徒指導担当教員が生徒指導に専念でき、未然防止・早期発見・早期対応につながっています。また、新規教員が大量採用される中、若手教員への支援として、市費の教育専門員も配置しています。<br>今後、学校への人的配置については、教員への支援がより効果的・効率的となるよう、平成22年度に向けて総合的に検討していきます。 |
| 130 | 子ども | ・その他(料金高くなると、弁当を給食にするとか、そういうことも考えてもらいたい!!)   | 幼稚園では午前保育が週に1日あり、給食を実施するには、調理担当者、献立、栄養価の計算などを担当する栄養士の採用と養成に多大の時間を要し、調理場の設置により園庭が狭くなる等の問題があります。  |
| 131 | 子ども | ・その他(公立幼稚園を選ぶご家庭は「経済的理由」の方がたくさんいると思います。その中で改革メニューというのはどういふものでしょうか。)  | 私立幼稚園においては、委託調理を行っているところも見受けられるが、保護者の作る弁当による家庭  |
| 172 | 子ども | 市立幼稚園の保育料を上げることにより、助成を受けた場合の私立と保育料が同じになれば、私立へと園児が流れる結果となる。(私立は3年保育という利があるため) そうなれば、私立園児の為に市が補助しなくてはならない助成金が増加し、結果、支出の増加につながる。これは現在市が進めようとしている方向性とは真逆なのではあるまいか。   | 園児1人当たりの市の年間経費は、平成19年度決算で約751千円から授業料96千円を差し引くと一般財源負担は655千円です。同様に私立幼稚園に対しては、設置者補助、保護者負担軽減を合わせて一般財源を平成19年度219,486円 - 21,033千円(国庫補助金) = 198,453千円支出しており、園児数1,440人(3,4,5歳児)で除すると、1人当たり137千円となります。<br>全員が公立では2年保育、私立では3年保育を受けたと仮定すれば、公立で655千円×2 = 1,310千円、私立では137千円×3 = 411千円となり公私で比較すると899千円の大きな差額となります。  |
| 173 | 子ども | 園の廃止は少子化を加速させる。即ち「子供がいなくなる」前提での案だからである。近くの園がなくなり、何kmにもわたる登園距離を強いられることとなれば、やはりバスのある私立への入園が増え、前述の通り支出の増加につながる。妊娠中の母親による送り迎えが困難となり、それならば子供を作ることをひかえる母親が出てくると思われる。少子化加速。<br>自動車免許を持たない遠距離の人間に大変厳しいプランであり、とても子供に優しい政とは思えない。小野原西地区の開発により、子供が増える可能性の高いこの地域の園の廃止は困る。   |   |
| 174 | 子ども | 子供達にまで影響する様な事をしようとしているのか疑問に感じる。  |   |
| 175 | 子ども | 私立幼稚園に行く人への補助を少なくしたら、市立幼稚園児数も増え、再編統合をしなくても良くなると思うし、保育料の値上げ、入園料の徴収もしなくてよくなると思います。<br>保育料の値上げ、入園料の徴収をするのなら、3年保育を考えて欲しいです。  | ゼロ試案では、私立幼稚園児保護者補助金についても見直し項目にしています。  |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 176 | 子ども | 市の財政難による保育料の値上げや入園料の新設、再編統合。<br>こうもマイナス要素ばかりでは納得がいきません。不景気や府の私立幼稚園への助成金削減etc... うまくすれば私立 公立幼稚園へと園児数が集まる絶好のチャンスだと思います。<br>保育料1万円は仕方ないとして、入園料は見送り、園児数が減少している幼稚園こそ空き教室を利用し、3年保育を行えば公立幼稚園の人気も高まるのではないのでしょうか。<br>乳幼児健診時etcでも、公立幼稚園の取組みを紹介したり、公立幼稚園の先生による育児相談コーナーを作ったりと、公立幼稚園をもっと身近に感じてもらえるように工夫すべき点は多々あるはず。又、もし幼稚園を廃止するのであれば送迎バスは必須です！ |   |
| 177 | 子ども | 子供の医療費は「他市以下」なのに、市立幼稚園の保育料等が「値上げ」されると、ますます公立幼稚園の人気がなくなり、本末転倒である。もっとその他の部分でスリム化を計れるよう検討してほしい。  | 本市では、子どもを安心して大切に育てることができるよう、平成21年4月1日から子どもの医療費助成の対象年齢を拡大しました。<br>通院についての助成対象は、これまで「4歳まで」でしたが、これを「小学校入学前まで」に拡大します。入院についての助成対象は、これまで「小学校入学前まで」でしたが、これを「中学校入学前まで」に拡大しました。<br>さらに、すべての対象年齢で所得制限を撤廃します。これにより本市の子ども医療費助成は、大阪府においてトップレベルの水準となりました。                                     |
| 178 | 子ども | 公立幼稚園離れがすすんでしまうのではないかと(保育料up、入園料、統廃合も)<br>私立の良い点を取り入れる(給食や預かり保育など)<br>市外の私立通園に補助が出るのは納得できない。公立の幼小のつながりが良い所をもっとアピールして園児獲得に取り組むべき(統廃合して経費削減するのではなく)   | ゼロ試算では、私立幼稚園児保護者補助金についても見直し項目にしています。  |
| 179 | 子ども | 園児の環境が維持されるための保育料改定や入園料新設であれば必要かとも思いますが、それぞれ地域の特色をもった市立幼稚園の再編統合はどうかと思います。地域の方との交流が減っていくのではないかと心配です。   |   |
| 180 | 子ども | 市立幼稚園は小学校校区に1校は必要です。再編統合や廃止だなんてとんでもない事です。親と子の幼児期の思い出は登降園の通園路にあるのです。歩いたり自転車に乗りながら話をしたり、四季の移り変わりを見たりして、こんな思い出を残すことのできる幼稚園は市立でしかできません。   | 平成20年5月1日現在の公立幼稚園児の状況は、6園定員910人に対し、在園児数は467人で定員充足率は51.3%、市内私立幼稚園7園の状況は、定員1,900人に対し1,456人(うち市外在住281人を含む)、定員充足率は76.6%となっています。<br>公立幼稚園の定員充足率は、年々減少傾向にありとどろみ幼稚園を除く5幼稚園20クラスで平均園児数は21.4人、また1園当たりの園児数90.2人となり、幼稚園教育のねらいである集団保育が園児数の少ない幼稚園では困難になりつつあり、少子化に伴い適正なクラス規模の確保が重要であると考えています。 |
| 181 | 子ども | 幼稚園で出会った友達というのは、子供同士は小学校に入ってからずっと、クラスが別れても男子も女子も交えているんな話ができる仲間として育っています。これって校区にある幼稚園でしか出来ない事ですょ！！今の時代、子供の心を育てていくにはとても大切な事だと思いませんか？又、親たちもずっと気軽にいるんな話ができるのは、幼稚園での2年間いっしょに園生活に参加したからこそ小学校、中学校に子供が行ってからもつきあっていけるんです。又、子供の情報もすぐ入ってくるんですよ！！すばらしい事です！！   |   |
| 182 | 子ども | 市の財政不足も分かりますが、子供達に関する部分はこの不況で家計が苦しい時には是非値上げはやめてほしいと思います。保育料が他市並の1万円とありますが、乳児医療は他市より負担が多いと思います。保育料、入園料も上げるならば、乳児医療の年齢も小学校3年～6年位まで引き上げてほしいと思います。再編統合については市立幼稚園の少ない箕面市ですので、利用者の事も考えて慎重に検討してほしいと思います。   | 本市では、子どもを安心して大切に育てることができるよう、平成21年4月1日から子どもの医療費助成の対象年齢を拡大しました。<br>通院についての助成対象は、これまで「4歳まで」でしたが、これを「小学校入学前まで」に拡大します。入院についての助成対象は、これまで「小学校入学前まで」でしたが、これを「中学校入学前まで」に拡大しました。<br>さらに、すべての対象年齢で所得制限を撤廃します。これにより本市の子ども医療費助成は、大阪府においてトップレベルの水準となりました。                                     |
| 184 | 子ども | 財政不足上保育料が1万円になるのは仕方ないかなと思えますが、幼稚園を一園廃止というのは私立幼稚園が高くて通えないという方もいると思うので困ります。<br>子供達も自分の幼稚園がなくなるととても悲しいと思うし、まだ理解できないと思う。  |   |

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方   |
|-----|-----|--|---|
| 185 | 子ども | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私立の補助を減らして欲しい。そうすれば公立に来る人が多くなるのでは。</li> <li>・ 統合されて東に通いましょうと言われてたら、PTA活動がむずかしくなる。嫌だ！！</li> <li>・ 保育所も併設にしては？</li> </ul>   | <p>ゼロ試案では、私立幼稚園児保護者補助金についても見直し項目にしています。</p>   |
| 186 | 子ども | <p>毎日幼稚園まで送り迎えがあるからこそ、親同士のつきあいが深くなり、小学校、中学校へ行ってからも地域で子育て、見守りができているという現実があると思う。幼稚園廃園などの子育ての横ラインで見るとは、子供の成長通りのたてでの見方で、公立幼稚園の必要性を考えなければいけないのではないかと思う。</p>   |   |
| 187 | 子ども | <p>子供が幼稚園に入園するまでの子育て期間は母親にとってとても重要な時間であり、一日の内の多くの時間を子供中心に使い、その中で幼児期に大切な躰やマナーを教え、家族の健康を考えた食事作り家事と慌ただしい生活を送りながら、子供がやっと初めての集団生活を体験する場所として、幼稚園に入園出来るまでに成長した喜びを感じ、小さな出来事の一つ一つに一喜一憂し、親子で考え共に育つ場所。その大切な場所として、私達は公立の幼稚園を選びました。園の送り迎えや園行事で、日々他の園児やお母さん方と会って接する中で目で見て肌で感じて話して分かり合える事の多さに、子育てのヒントや自分の気付かなかった大切なこと、親の社会人としてのマナーやルールも教わった気がします。子供が小さな内に、この体験が出来て良かったと思います。その公立幼稚園が統合され廃止される園もあると聞いて素直にそれで良いのか？と自問自答しました。キッカケは引っ越して来た時に近所のお友達が皆入るし、保育料も安いので入った園。そして思い出が沢山あった園。若い世代のご家庭は私立の補助金が多く出る為に私立幼稚園に入園される方も多くありますが、遠い将来公立幼稚園が民営になり、現在の私立高校への援助打ち切りのように、私立幼稚園の補助金も打ち切られる世の中になるかもしれません。そうなった時に、公立は無く、高い保育料を支払って幼稚園に通わせる事になる世代は、どんどん子育てしにくい厳しい現実になり、少子化も進まざるを得なくなると思います。今でも私立への補助が出なかったら公立に通うであろう家庭は多くあるのが、実情ではないでしょうか？子育てには多額の学費費用がかかる為に、それぞれの家庭で工夫し、家族計画を立てて生活されている中で、安心して通わせる事が出来る場所が無くなるのは不安に思います。一方で市立病院の看護師を准看等に入れ替える案もあり、女性の働きながら子育てする場所の安定までも脅かされているようで矛盾を感じます。公立幼稚園の三年保育化と、他市私立幼稚園への補助金見直しで若い世代の本当の意味での子育て応援政策を行って頂きたいと思えます。</p> | <p>市立病院の看護師を准看護師に入れ替える案はありません。看護補助者とは、回復期リハビリ病棟の看護師配置基準内で、看護師でなくてもできる介助業務などを介護士等が行うことを想定しています。今後も市立病院の看護業務は正看護師が行います。</p> <p>公立幼稚園を選択する未就園児の保護者の意向をアンケート調査で聞いたところ、自宅から近い、授業料が安いとの回答が多くありました。</p> <p>私立幼稚園の授業料は、公立に比し高額ですが、国制度の就園奨励費補助金、市独自制度の保護者補助金の交付により、その較差は園児の年齢、世帯の状況にもよるが相当程度小さいものとなっています。本市における幼稚園教育の開始は私立幼稚園が昭和10年から、人口集中による園児の保育環境の整備の必要性から公立幼稚園では47年から始まっており、私立幼稚園が先行してきました。公私立幼稚園それぞれの特徴を活かし現在まで運営されてきたが、新市街地を除き少子化傾向が強まるなか、幼稚園の位置、規模のバランスを考慮した再編統合を進める必要があると考えています。</p> |
| 188 | 子ども | <p>とよかわみなみ幼稚園では、遊びを通して、健康・人間関係・環境・言葉そして表現について学んでいきます。子どもの興味関心から発生した遊びの中で、子どもがさらに工夫したり発見したりと次のステージへ移れるような、先生方の創意工夫が見られる環境設定がなされています。色んな遊びを通して季節感を味わい、また、形や個数、形、量感覚など算数につながる概念が形成されています。幼稚園の整った環境の中で、自分の興味・関心のある課題を選び、しっかり遊ぶことが、小学校入学後の学習に生かされてきます。一斉活動では、特にしっかり話を聞く力が身につけられ、小学生になった時、非常にスムーズにスタートできます。これらの事から見ても、公立幼稚園は存続させるべきです。</p>   |   |
| 189 | 子ども | <p>今の幼稚園では親も子ども近所で顔なじみや友達が出来てそのまま小学校に進級するので、色々な面で安心出来ている。再編統合されると友達の区域も広がるし、近所とのつながりも今より薄くなると思う。遠くなると通うのも大変。</p>   |   |

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| 190 | 子ども | 保育料の改定は不況につきいろんな物が値上がりしているのでは仕方ない事だと思いますが、入園料、再編については納得がいきません。そういう事をすると今まで以上に市立幼稚園へ行く方々が減って悪影響だと思います。  | <p>私立幼稚園児の保護者に対する補助制度としては、国制度の「就園奨励費補助金」と市独自制度の「保護者補助金」があります。両補助金制度は、保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとともに、市立・私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正を図ることを目的としています。今後、就学前の子どもの教育・保育をともに充実させる視点から、市立幼稚園の役割も考慮しつつ、補助金のあり方について検討を重ねていきます。</p> |
| 191 | 子ども | 徒歩で幼稚園に送迎するのは大変な時もありますが、バスでの送迎ではみれない園での子どもの表情、その日にあった事、日々の作品等子ども達同士の関わりや吹き、その他にもいろんな事が自身の目や耳で確認できます。これこそが公立幼稚園の魅力です。市長にお願いします。是非、一度幼稚園にお越しいただき園児達の様子を見ていただいて、私達保護者の話を聞いていただきたいと思います。よろしくお願いします。  |  |
| 192 | 子ども | もし、とよかわみなみ幼稚園がなくなるのであれば、次下の子が行く予定なので、次は自分もってという自覚があるのに、違う幼稚園だと納得いきません。今、急になくなったりすると泣き出して他の幼稚園に行かなくなると思う。せっかく楽しくてしょうがない時なのに、子供達はショックだと思う。   |  |
| 193 | 子ども | 私立幼稚園の助成をするより公立幼稚園をもっと大切にしてほしい。教師のしかりさが私立とはかなりがうと思う。私立 短大出ですくの先生が多く、すぐ辞める人が多いのでスタッフがころころかわり信頼できない。   |  |
| 222 | 子ども | 私立幼稚園の補助金を受けている箕面市民が吹田市内にある幼稚園を通園しているのをよく耳にする。箕面市内の私立にしか使えないようにしてはどうか？ 保育料が1万円程になると実質私立との差がほとんどなくなり、益々公立幼稚園の人数が減るのではないかな？  |  |
| 223 | 子ども | 市外の幼稚園へ通うのに補助金が出ているのはおかしいと思います。市内ならまだしも…。私は幼稚園を選ぶ際、保育費がいくらかかるという事が選ぶ理由ではなく、はじめから、公立に子供を通わせたいと思っていました。今以上に公立幼稚園がなくなってしまうとこれから先(下の子ができる可能性もあるので)非常に困ります。本当に子供の事を考え教育してくれるのは公立幼稚園の先生だと思います。   |  |
| 224 | 子ども | ・幼稚園の統合に反対です。子供の足で歩いていける幼稚園が良いです。<br>・今でも保育料は色々月材料代などいって1万円程かかっているの、これ以上どうかな？<br>・なぜ市立で入園料がいるのかわからない！！   |  |
| 225 | 子ども | ・保育料改定、入園料新設については必要ならばよいと思う。   |  |
| 226 | 子ども | 3年保育の希望及び府や市からの年中・年長児に対する補助金による保育料の軽減により、年々私立幼稚園への移行は高くなってきているように思えます。しかし、子供が早く離れて楽に感じる期間は束の間、多くの私立幼稚園で保護者から人との関わりがなく寂しいという声が多々聞こえてきます。市立幼稚園では毎日の保護者の送迎で皆が顔見知りになり地域に根付いた、皆で子供たちを育てようという雰囲気が満ちあふれ、子供も保護者ものびのびイキキとされています。困ったら助けてもらえると安心感のある生活を求めて市立幼稚園への入園を希望される保護者は数多く存在します。地域に密着した市立幼稚園の存続をお願いします。 |  |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 227 | 子ども | <p>財政不足の穴埋めを子どもにもってこないでほしいです。保育料や入園料等を他市並みにするというのなら医療費の助成なども他市等のように、年齢をひきあげてほしい。</p> <p>吹田市は子どもの医療費の助成も箕面市より長く受けられ水道代も安い。</p> <p>箕面森町の方に行く道路や、彩都等余計なことにお金を使っているから財政不足に陥るのではないのでしょうか。</p> <p>少子化を防ぐ為にも、子どもを育てやすい環境作りをしてほしいです。</p>  | <p>本市では、子どもを安心して大切に育てることができるよう、平成21年4月1日から子どもの医療費助成の対象年齢を拡大しました。</p> <p>通院についての助成対象は、これまで「3歳まで」でしたが、これを「小学校入学前まで」に拡大します。入院についての助成対象は、これまで「小学校入学前まで」でしたが、これを「中学校入学前まで」に拡大しました。</p> <p>さらに、すべての対象年齢で所得制限を撤廃します。これにより本市の子ども医療費助成は、大阪府においてトップレベルの水準となりました。</p> <p>「大規模開発について」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> |
| 228 | 子ども | <p>少子化を防ぐ為には、少しでも安い保育料で入園できる幼稚園が必要だと思います。同じ学校区内から一緒に入学できると小学校にも早く慣れることができるので親としても安心です。もっと公立幼稚園の良いところを広くアピールするべきだと思います。</p>  |   |
| 229 | 子ども | <p>3つとも、公立幼稚園に通園する(希望する)側にとっては、マイナスの案ばかりで...公立の良さがなくなってしまう気がしました。</p> <p>保育料改定・入園料新設にともない何か見返り!?はあるのでしょうか。子育て世代も財源不足...。統合になると遠方の園へ登園することも?! 毎日のこととなると大変だ。地域の幼稚園が地域外になる。</p>  |   |
| 230 | 子ども | <p>保育料・入園料の改定・新設反対です。(制服、備品の購入を考えると他地域より決して少なくはありません。)</p> <p>子育てしやすい市にならないと人口増(収入増)につながらないのでは?</p>   |   |
| 231 | 子ども | <p>平成22年入園予定の第2子がいます。今から私立の3年保育には間に合いません。</p> <p>・保育料、入園料の改定は仕方ないと思いますが、保育内容が変わらないのなら少しずつ値上げ(毎年500円/月ずつとか)する方が抵抗も少ないと思います。2年で58,000円いきなりはひどい...。他市並に保育料を上げるなら他市並の保育サービスも求められます。</p> <p>・とよかわみなみ幼稚園が再編(廃止)対象なののでしょうか?だとすると残念なこと&amp;困ったことですが、このままでは園児増は見込めないし、これも仕方ないのかしら...。3年保育(もしくはひまわり組の充実(有料でも可)せめて週1回)、バス、給食のどれかを取り入れる以外に道はないのかも知れません。</p>   |   |
| 232 | 子ども | <p>素案の廃止を以下の理由によりお願い致します。</p> <p>公立幼稚園に入園希望者の多くは経済的理由(共働きではない等含め)によるものではないかと思われる。</p> <p>現に我が家でもそうですが、子供の数が多い家族等にもダメージが大きく公立幼稚園の減少、保育料の値上げは資産のない家は子供も多くは望めないのか将来的な心理的不安の要因になりかねないと思います。</p> <p>幼稚園児をもつ家の多くはさらに下にも小さな子供さんがいる場合もあり、幼稚園が近くに無いという事は、かなり母親の負担も増え、子育てしにくい市となることは必須です。子供達の教育を優先的に考えていただけるのなら、幼稚園の充実も合わせて強くお願い申し上げます。</p> <p>(とよかわみなみ幼稚園は子供達・母親にとってとても素晴らしい人間教育の場であると感じています。)</p> | <p>緊急プラン(素案)を撤回しても、問題の先送りに過ぎず、箕面市の財政問題や財源不足は解決しません。また、現在の経済不況の影響は、市町村へは税収のさらなる減少として1~2年後に現れてきます。だからこそできるだけ早い段階で対策を実行する必要があります。必要不可欠なセーフティネットや福祉・教育・都市環境などの根幹的な施策を持続・継続していくためにも、改革は避けて通れないものと考えます。</p>   |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方  |
|-----|-----|---|--|
| 302 | 子ども | <p>昨年12月16日に発表されました「箕面市緊急プラン(素案)」について、このたび在園児保護者・卒園児保護者および平素より園行事にかかわって頂いている西南小校区福祉会の方々から多くの意見が集まりましたのでここに同封させていただきます。ご一読下さいませ様よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>私自身は、長男がせいなん幼稚園を卒園し、現在次男がお世話になっております在園4年目の保護者です。今回私どものほうで素案についてアンケートを実施するにあたり、市立幼稚園の利点、存在意義というものを一保護者としてあらためて考えてみました。</p> <p>経験を積まれた先生方によるゆるぎない保育によって、子ども達が無用な過当競争にさらされることなくのびのびと育つ。</p> <p>地域とのつながりや障害児の受け入れなどにより、様々な人とふれあい、「みんな違って当たり前」だということを幼い頃から学び、偏見や差別のない人間が育つ。</p> <p>以上のような点を存在意義として挙げたいと思います。</p> <p>送迎バス、給食は、給食...と全ての園にお任せするのも選択肢のひとつかもしれませんが、毎日子どもと通園しながら季節の移ろいを感じ、毎日先生方や保護者同士が顔を合わせ信頼関係を作っていく、毎日大変だと少し頑張ってお弁当を作る。そんな「毎日」の積み重ねが、子どもにとってとても大切なことのように私には思われます。</p> <p>そんな大切な「毎日」を過ごした幼稚園が統廃合でなくなってしまうとしたら、それはあまりにも残念なことですし、ひいては一部の地域の子供達が市立幼稚園に通えなくなってしまう可能性が出てまいります。そうすると、市立幼稚園は存在意義そのものが揺らぎかねないのではないのでしょうか。</p> <p>限りある財源の中で行財政運営を進めていかなければならない実情は、私をはじめ保護者一同も箕面市民として理解しております。ただ、子どもがこれから安心して学び、遊ぶことの出来る箕面市であってほしい、それが私達の願ひです。</p> <p>(303～358はアンケート形式のため省略いたしました。)</p> |  |
| 304 | 子ども | <p>5. その他(どんなご意見でも結構です。)</p> <p>特にせいなん幼稚園は子どもの人数も少なめという事で、さみしいかもしれませんが、先生方がとても細やかに目を配っていただいて本当に良いと思います。</p>   |  |
| 305 | 子ども | <p>5. その他(どんなご意見でも結構です。)</p> <p>トップの人たちは常に上からの視点から見から下の景色とえば変ですがもっと市民よりに考えて欲しい、当選する前と今ではかかっていた事が違ってきていると思います。怒りと不信感で一杯です。教育や福祉からけずっていくのをやめて欲しい。</p>   |  |
| 308 | 子ども | <p>5. その他(どんなご意見でも結構です。)</p> <p>市の財源不足の解消の一端を教育にしわよせするのはおかしいと思います<br/>まずは、行政機関の無駄を見直し、内部改革をしてから改めて提案してほしいと思います</p>  | 5. 「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか? もっと他にも改革すべき事業があるのでは?」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。 |
| 311 | 子ども | <p>5. その他(どんなご意見でも結構です。)</p> <p>市長になる時に、子育て支援という言葉を使ってられたと思ったのに幼稚園の統廃合という施策をうちだされるとは、とてもがっかりです。子育て支援とは、お金で援助する事も大事ですが、子供たちが育つ環境を守ることもとても大切だと考えます。</p>   | 5. 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。                                      |
| 314 | 子ども | <p>5. その他(どんなご意見でも結構です。)</p> <p>値上げや入園料の新設など、やめてほしいです。子供関係での削減は、やめて頂きたいです。</p>  | 5. 「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか? もっと他にも改革すべき事業があるのでは?」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。 |



| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| 317 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。)<br>12/17付の新聞に載っていた内容を、もみじだより等にも載せてもっと市民に分かりやすく周知して欲しかったと思います。私たちの知らないところで色々なことが決められているような印象です。<br>子供たちのためにどうすることがよいのか、主体が子供にあることを無視しないで欲しいものです。  | 5. 「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。  |
| 318 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。)<br>統廃合をするならば箕面市の全公立幼稚園を廃止にしてみてもどうでしょうか?そこから出る余剰金の一部を抽選制で特別補助金として支給する。(年収制限を設定する等)支給対象人数は公立幼稚園の定員分程度。地域によって公立のあるなしで負担が変わるようなやり方は同一市民内に不公平をうみ、結果として市の政策自体に不信感を与える事になりかねない。公立幼稚園に人が集まらない原因をもう一度考えて、どうしたら人が集まるのかを考えるのが生産的ではないかと思います。 | 5. 公立幼稚園の園児数は少子化の進展により減少しており、この5年間では、平成16年5月1日552人、平成20年5月1日では467人と85人減少しています。一方で、就労形態の変化により、保育所需要は年々増加し、保育所に入れない待機児対策が緊急の課題となっています。就学前の子どもの教育・保育をともに充実させる視点から、公立幼稚園と私立幼稚園の役割も考慮しつつ幼稚園のあり方について検討を重ねていきます。  |
| 319 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。)<br>少子化で子どもの数が減っていくなかで、幼児のための施設を減らすと、箕面市がますます少子化が進むのでは。   |  |
| 320 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。)<br>公立幼稚園の保護者は、箕面市の活動などに公立小中学校と一緒に関わる事が多く、小中学校よりも規模が小さいので、その情報は保護者達に早く、深く伝わっている様に思います。公立幼稚園に通わせた事により、市のさまざまな取組にも、興味をもつ様になりました。  |  |
| 324 | 子ども | 5. 育の公立離れは深刻です。財政難の打開策を教育に向けるのはやめて欲しいです。子どもの教育に格差はあってはならないと思います。   |  |
| 327 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。)<br>子育てしやすいという事で有名な箕面市です。これをくずすことなく、子供たちの事を守ってほしいです。  |  |
| 328 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。)<br>まずはどんな家庭でも不況になったら、できる所から少しずつ切りつめていきます。市も収入確保ばかりでなく、支出削減を目指して下さい。市民にばかり負担をさせずに子供たちに優しく、皆に受け入れてもらえる案がある事を願います。<br>ゴミ袋引換券、もう少し小さくしても良いのでは、少しずつの節約なら各家庭でもできると思います。  | 5. 現在、無料配布している「燃えるごみ」専用袋の無料配布枚数は、有料化前の排出量の10%減分で設定したのですが、平成19年度実績において、18%(対平成14年度比・1人1日あたり)の減量効果が出ており、一部の世帯において袋に余剰が生まれていることは確かです。ごみ減量の視点に基づき、将来的に、ご指摘のような無料配布枚数の削減を検討する必要があると認識していますが、有料袋を購入している世帯も依然として一定数以上あることから、今後、有料袋の販売枚数を参考に、また、ごみの減量、資源化など、本市の全体的な取り組み状況もあわせ、検討する時期を見極めていきます。 |
| 329 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。)<br>私立より費用がかからない、それを望む親がいる限り存在させるべきと考える。子を持つ親に対する思いやりが必要。   |  |
| 332 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。)<br>私立幼稚園に人が流れてしまう第1は、3年保育と2年保育の差が大きいのだと思います。市としても3年保育について前向きに検討していただきたいです。   |  |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方  |
|-----|-----|---|--|
| 333 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。) 箕面市の私立幼稚園に通った場合の補助金、1月1万円、所得制限無しというのは、周囲の他市と比べても格段に高額です。他市は3千円程度で所得制限ありのところが多いです。営利目的でない本当の子ども達の事を考えた公立幼稚園を残すためにも私立幼稚園の補助金は他市レベルにするべきだと思います。  | 5. 私立幼稚園児の保護者に対する補助制度については、国制度の「就園奨励費補助金」と市独自制度の「保護者補助金」があり、両制度は、保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとともに、市立・私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正を図ることを目的としています。市単独の保護者補助金については、補助対象となる保護者の所得階層や補助額等について、国制度の動向を踏まえながら平成22年度に向けて見直していきます。 |
| 334 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。) のびのびと個性をのびして保育して頂いています。かつ入学後も困らない様な指導もして頂いて、少ない予算でのくふうが素晴らしい幼稚園だと思います。なくすのはもったいない。  |  |
| 335 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。) 子育てしやすさ日本一を目指す、とうたっているのに、公立の幼稚園に通いにくくなるのはとても矛盾していると思う。医療費を入学まで無料にするとあげられているが、そうすると「大したことないけど無料だし、医者にいいこう…」という人が増え、財政圧迫につながるのではないのか？   | 5. 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。  |
| 336 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。) 確かに赤字経営かも知れませんが、教育関係にシワ寄せが来るのはどうかと思います。他に削れる所は削り最後の最後にして欲しい。  |  |
| 337 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。) 財源不足の解消には、他の所からお金を取ったらいいと思う。例えばサクラや紅葉の時期は、箕面の滝道を通るのにお金を取る!!市立図書館だったら年度初めに年会費を数百円を取る!!公民館も使用料を取る!!全てをタダにしなくても、多少の負担は、皆、文句言わないと思うんですけど...「子育てしやすさ日本一!!」と言った倉田市長、市立幼稚園をターゲットにするのは、やめて下さい!!     | 5. 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。  |
| 338 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。) 保育料を上げれば市立のメリットは小さくなり、ますます私立へ流れる可能性が高くなります。一つの小学校に一つの市立幼稚園を併設できるくらいの市のバックアップをお願いします。  |  |
| 345 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。) 入園してみないと幼稚園の良さはなかなか伝わりにくいと思います。授業料を大幅に値上げし、入園料を新設すると補助のでない市立幼稚園はその時点で選択肢からなくなるような気がします。とても素晴らしい幼稚園なので、存続して欲しいです。  | 5. 私立幼稚園児の保護者に対する補助制度については、国制度の「就園奨励費補助金」と市独自制度の「保護者補助金」があり、両制度は、保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとともに、市立・私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正を図ることを目的としています。市単独の保護者補助金については、補助対象となる保護者の所得階層や補助額等について、国制度の動向を踏まえながら平成22年度に向けて見直していきます。 |
| 346 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です。) 市立幼稚園の保育料UP・入園料新設するのなら、私立幼稚園への補助をなくす、あるいは減額した方がいいと思います。好きで私立に行っているのに何で補助が出るのかきもんです。幼児期はいっぱい体を動かし、色々な事を学ぶ時期だと思います。人数をつめこめるだけつめこんだ幼稚園では、先生の目が全て行き届いているとは思えません。今の市立幼稚園の人数が保護者から見たらとても理想的な人数です。 | 5. 私立幼稚園児の保護者に対する補助制度については、国制度の「就園奨励費補助金」と市独自制度の「保護者補助金」があり、両制度は、保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとともに、市立・私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正を図ることを目的としています。市単独の保護者補助金については、補助対象となる保護者の所得階層や補助額等について、国制度の動向を踏まえながら平成22年度に向けて見直していきます。 |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 347 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です.)<br>・市立幼稚園の運営や保育内容(延長保育、3年保育など)など市側の努力がまったく見られない。簡単に廃止<案>とは、まったくお粗末<br>・市は私立幼稚園に尻尾をふりすぎ、賄賂でもらっているの？  |   |
| 348 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です.)<br>市立幼稚園を経験して感じるのは地域の方との交流のすばらしさです。市立幼稚園には地域の方に支えられて成り立つ行事がたくさんあり、通ってなければ気づく事がなかった感謝の気持ちを持つことができるようになりました。子供達も中学生からお年寄りまで顔見知りが出来防犯上でもとても良い事だと思います。子育てサロンや園庭開放等入園前から交流の場として活躍しているし、絶対に必要だと思います。廃止する方向ではなく存続する方向で検討して頂きたいと思います。 |   |
| 350 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です.)<br>・"ゼロ試案"を作成された方々は、園の先生や保護者と話し合いの場を持ってほしい。今は、紙上でしか伝わる事はありませんが、実際に話をお互いして伝わる事がもっとあるはず。よろしくお願いします。   |   |
| 352 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です.)<br>交通の便のよい立地条件で民営化にしたり、幼稚園をなくすというのはどうかと思います。箕面市全体で考え存続することを考えてほしいと思います。   |   |
| 353 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です.)<br>子どもが犠牲にならないよう、よく議論して、子どもたちが笑顔でいられるプランにしてほしいと思います。  |   |
| 355 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です.)<br>幼小中が一貫できれば良いと思う。   | 5. 箕面市では、平成23年(2011年)4月に、箕面森町において、保育所と幼稚園が一体化した施設(「認定こども園」)を開設する方針を決定しました。箕面森町では、「小中一貫校」(小学校・中学校)の施設と「認定子ども園」(保育所・幼稚園)が1ヶ所に集約され、官民協力の下、0歳から15歳までの保育・教育を一体的に進める体制を整えます。施設一体型の「小中一貫校」と「認定こども園」を同一敷地内に配置するのは、全国初の試みとなり、箕面森町における子育て世代の支援策として、大いに寄与するものと考えております。   |
| 356 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です.)<br>でも述べたが、世界の中でも日本の少子化はかなりひどい状態である。子どもを増やし、育てることが国をも救うことはまちがいない。箕面市だけでも、このことを市民が把握して、実践しましょう！！そのための改革を！！  | 5. 今回の緊急的な改革の目標は、平成25年度当初予算で経常収支比率を100%以下におさえ、基金依存からの脱却を図ることで、平成25年度までに経営を立て直すことを最優先に考えています。そうであれば、将来に向けた重点施策を推進できないと考えるからです。まずは均衡を失っている財政バランスを回復し、健全財政を実現していくとともに、併行して、市長の重点政策である「みどり・住みやすさ」、「子育て」、「安心・支え合い」など、時代や市民ニーズの変化に対応した施策を具体化し、メリハリのある行財政運営を進めていく考えです。それら重点施策の実行により箕面市の魅力を高め箕面市に住みたいと思われる魅力あるまちにしていきたいと考えています。 |
| 357 | 子ども | 5. その他(どんなご意見でも結構です.)<br>本来、私立幼稚園に通わせている方への補助金は、通園できる範囲に私立幼稚園がなく、同じ市の中で市立幼稚園がある地域の方々との不公平をなくすためのものです。通える範囲にある市立幼稚園ではなく私立幼稚園を自ら選んでいる人に高額な補助金は必要ないと思います。補助金があれば市立と大差ないので3年保育でもなく延長保育もなく給食やバスもない市立幼稚園より、親が楽な私立幼稚園を選ぶ人が多いのはあたりまえです。                     | 5. 私立幼稚園児の保護者に対する補助制度については、国制度の「就園奨励費補助金」と市独自制度の「保護者補助金」があり、両制度は、保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとともに、市立・私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正を図ることを目的としています。<br>市単独の保護者補助金については、補助対象となる保護者の所得階層や補助額等について、国制度の動向を踏まえながら平成22年度に向けて見直ししていきます。   |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 358 | 子ども | <p>5. その他(どんなご意見でも結構です。)</p> <p>ネットを検索してありましたら、興味深い記事を見つけました。浜松市の議事録で、幼稚園の民営化について検討されたものですが、市への意見は提出の参考になるのではないかと思ったので、添付「第4回浜松市立幼稚園民営化に関する検討会会議録(要録)」しておきます。大変ですが頑張ってください。</p>   |   |
| 441 | 子ども | <p>二人の子どもを公立保育所に預かっていただいて働く会社員です。箕面に住んで15年になりました。結婚・出産を経てようやく自分の住む「箕面市」の未来に関心及び責任を持つ立場になったと思います。本プランに接しましたが、本プランの提出及び告知(周知)方法はあまりに乱暴で、安直なコストカットの数字合わせが目立つばかりで、抜本的な改革とは思えずコメントすることにしました。全体的にも問題は多々あるとは考えますが、直面している子どもを取り巻く問題について、以下の通りご意見申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の保育料の値上、幼稚園の授業料の値上など、取り易いところから取るうというあまりにも無策な手法は市民は望んでいない。少なくとも「未来の子ども」のために「現在の子ども」に犠牲を強いる方法はあまりにも安直で到底納得できるものではない。</li> <li>・子どもにかかるコストについて、相対的に正確に把握、公表し、すべての子どもにとっての必要経費を正しく見積り、必要な経費(費用)は正当に予算計上すべきである。(このジャンルに対するコストカットの前に優先してカットすべきコストがオープンにされているとは言えない。)</li> <li>・幼保一元化がコストカットにつながるという安易な発想を感じる。本制度の導入後、全国レベルでの展開速度が上がらないのは、クリアすべき課題が大きく、それに見合ったメリットがないと判断されていると断じざるを得ない。保育所の民営化の際の拙速で、検討不足、説明不足を否めない強行を、二度と繰り返すことのないよう、関係部署及び関係団体からの十分な意見集約を行った上で慎重な検討を求める。</li> </ul> | <p>「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p> <p>「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか？もっと他にも改革すべき事業があるのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> |
| 454 | 子ども | <p>現状の市立幼稚園は保護者のニーズに合わず、園児が減少し続け空き教室が増えることにより、費用対効果を考えると、費用がかかりすぎるという課題を抱えており、こうした現状から、「緊急プラン(素案)」にあげられたのではないかと。そこで今一度、市立幼稚園がなぜこうなったか考えると、保護者のニーズに合わなくなり、私学の幼稚園に通う園児が増えたのではないかと。その主な原因としては以下の2点ではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箕面市はもとも他市に比較して市立幼稚園の数が少なく、一時期園児が増えたことにより、待機園児を減らす目的で、保育料を補助するという形で私学の幼稚園に頼ってきた。しかし、現在ではその施策が裏目に出ているのではないかと。保育料の補助を他市に比べ高額にしたため、所得によっては市立幼稚園に通うのとほとんど変わらないが、場合によっては安くなっている。</li> <li>・核家族化が進むにつれて、家賃の支払い、住宅ローンなどの家計への負担が大きくなり、共働きが当たり前になったことにより、保護者のニーズが教育から保育、さらに仕事をするための保育の延長へと変わってきた。</li> </ul> <p>さらに、私学の幼稚園には園児獲得のため、園バスの運行や給食、早朝保育、延長保育があるなど、保護者の負担を軽減するための魅力的なサービスの提供もあり、補助により保育料にあまり差がないのなら、長い時間働きたい、余裕のある暮らしがしたいと考える保護者にとっては、多少の追加料金を払ってもメリットは大きいと考える保護者が増えているのも現実である。</p>  |   |

| No. | 種別 | 意見  | 市の考え方   |
|-----|----|---|---|
|     |    | <p>この現状を考えると、一見子どもはきちんと保育を受けることができ、保護者の負担も軽減され、生活も楽になり、とすれば余裕さえ出てきそうで良いことづくめに見えるが、子どもを中心に考えてみると、本当にそうなのか疑問である。大半の園児は早朝の園バスで登園し、降園も夕方に園バスで、もしくは夜に保護者がお迎えに行くため、地域との関わりが希薄になりがちになる。幼稚園に限らず小中学校の子どもたちも同様に、地域の子どもの地域で育てることが基本と考えるが、日頃姿も見えない、話もしたことがないということが、将来地元地域で育っていくためには決して良いわけがない。「三つ子の魂百まで」ということわざにもあるように、子どもたちはこの時期に多くの経験を積む。近所のおじいちゃん、おばあちゃん、おっちゃん、おばちゃんたちと接する中で、ほめられたり、しかられたりすることで、いろいろな事を学び、人に対する思いやりも自然と身に付くのではないかと私は感じている。また、保護者と子どもが手をつないで色々な会話をしながら登降園する中で、学ぶべき事も多いのではないかと私は感じている。毎日の愛情のこもったお弁当を食べることにより、親への感謝の気持ちを忘れない優しい子どもに育つのではないかと私は感じている。地域の子どもは、保護者、幼稚園(学校)、地域が一体となって育てることが必要であり、それが欠けていることで様々な子どもの犯罪が増えるなど、少なからず子どもに悪影響を及ぼしているのではないかと私は感じている。この保護者、幼稚園(学校)、地域が一体となって子どもを育てることが出来るのが市立幼稚園で、園児獲得競争に左右されず教育を中心に保育を行える場であり、その市立幼稚園が各所に適切に設置されていることが重要なのではないかと私は感じている。</p> <p>今回の「緊急プラン(素案)」では市立幼稚園に関して、市立幼稚園授業料の改定、市立幼稚園入園料の新設、幼稚園の統廃合などが項目としてあげられているが、これらはすべて後向きな改革でしかない。特定財源の確保としての授業料の改定や入園料の新設について、現状の市立幼稚園のままでは、園児の減少に拍車をかけることにしかならない。また、統廃合を行った場合は、通園に時間を要する、園バスの運行が必要になるなど、保護者の負担を増やすか、市の支出が増えるだけで、いずれの項目も効果はないと考える。</p> <p>市立幼稚園を存続しつつ保護者のニーズに応える、つまり後向きではなく、前向きな改革として私なりに考えられる最善策としては、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市立幼稚園は現状のままとし、統廃合はしない。</li> <li>2. 入園料の新設、保育料の改定については、所得に応じたものに見直す。</li> <li>3. 保育を必要とする保護者に対して、早朝保育、延長保育を実施する。</li> </ol> <p>である。</p> <p>先に記述したように、市立幼稚園は保護者、幼稚園(学校)、地域が一体となって子どもを育てることが出来る素晴らしい場である。保護者のニーズである早朝保育、延長保育を実施することにより、入園料の新設や保育料の改定など多少の負担は理解いただけるものと考えられる。これを実施するためには、「保育士」と「教諭」の両方の資格をもった職員を新規採用することにより、幼稚園を認定こども園のような形態にすることが出来るのではないかと私は感じている。</p> <p>以上、長々と書きましたが、我が子のうち2人は箕面市立とどろみ幼稚園を卒園し、最後の子どもが今年卒園します。この幼稚園で色々なことを学んだことは子どもたちにとってかけがえのないものになると思います。残念ながら、箕面市立とどろみ幼稚園は森町の子どもの増加に伴い、施設の許容を超えてしまったため、市の財政状況から建て替えが出来ず平成23年度には民間の幼稚園(認定こども園)となることと決定されております。しかし、市内の幼稚園は空き教室があるということなので、それを効率的に利用し、保護者のニーズにも応えられる方策を検討していただくことを切に望みます。何よりも子どものことを一番にお考えください。よろしくお願い申し上げます。</p> | <p>ゼロ試案では、私立幼稚園児保護者補助金についても見直し項目にしており、市単独の保護者補助金について、補助対象となる保護者の所得階層や補助額等について、国制度の動向を踏まえながら平成22年度に向けて見直ししていきます。</p> |

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| 463 | 子ども | <p>支出の改革の補助金の見直しや、特定財源の確保等で「私立幼稚園保護者補助金」「保育所保育料の改定」「市立幼稚園授業料改定」「市立幼稚園入園料の新設」等の補助の廃止や授業料の他市並可、入園料新設を考えておられるようですが、そもそも箕面市の目指している子育てしやすい町への取り組みとは真逆の案ではないのでしょうか？</p> <p>子育てには金銭的な負担は付き物で、家庭により様々な出費が存在します。その中でみんな一生懸命に子育てをしている中で、箕面市としてさらに授業料や保育料を上げ、入園料まで新たに徴収するとなると家庭での負担が増すばかりで子育てしやすい街とはとても言い難いです。他市並にあわせるとういのも箕面市の施策を箕面市が崩そうとしています。</p> <p>さらに、保育料の引き上げに関して、現在の7割負担から9割負担に改定すると案を出されていますが、保育所に子どもを預けている方は、家庭の生活の為に子どもを預けて働いています。そこに保育料の引き上げをすることにより生活が成り立たない家庭も出てくることは必然で、箕面市が市民の生活を苦しめる状況にするという事になります。市民は税金も支払い保育所に子どもを預けて働いている市民はばさらに税金を支払っています。市民の負担を増やすような案はこのような形ではなく箕面市全市民に理解を仰ぎ市民と共に検討して下さい。</p>  | <p>(49) 保育所の保育料については、所得階層の区分に応じた改定の影響を考慮するとともに、第2子以降の負担軽減策の検討も含め、保育料改定の検討期間を設けるため、平成21年度は改定を見送り、平成22年度予算において改定する考えです。</p> <p>保育所は、保護者が就労などにより家庭で保育できない場合に、家庭に代わって子どもを保育する施設です。その趣旨から、保育所運営に必要な経費をまかなうために、所得に応じて保育料をご負担いただくことが基本です。本市では、保育所運営経費については、保育水準を向上させるべく、国の基準額を上回る支出を行っています。また、これまで保育料は総額で国基準の7割を目安に設定しており、一般財源の負担が大きい状況です。さらに、他市町村と比較して平均的な保育料設定としつつ、3歳以上児の主食費を徴収しておらず、実質面での負担軽減を行っています。今後、一定額の負担増をお願いせざるを得ないと考えています。</p> <p>なお、所得に応じた負担という観点については、国が7つの階層区分であるのに対し、本市は19階層とし、所得の状況に応じた細分化を行っており、この点の考え方は継続する予定です。一方、保育所運営については、この間、保育所民営化、対数変更により経費削減に努めつつ、平成21年度4月は退職補充の新規採用を行うなど適切な運営に努めております。</p> |
| 501 | 子ども | <p>いくら担当プロジェクトチームの案であり市長案ではないとはいえ、今回の緊急プラン全体的に社会的弱者への負担増が目立ち、中でも市長の「子育てしやすい日本一」という公約がないがしろにされているのではないかと受け取れる。せっかく若く小さなお子さんを持つ現市長に期待を寄せていた人々にまで疑念を抱かせており、一般市民や社会的弱者の生活が全くわかっていないのではないかと悪印象を与えている。新市長の最初の改革としてふさわしいものになるよう、公約を忘れずにしっかりと取り組んで頂きたい。</p> <p>・一体市民の何%がこのプランの存在自体を知っているのか！市民への周知の努力がなさ過ぎる。現状では、一応公表してパブリックコメントを募集しましたという体裁を整えるためだけの物で、実際には不利益を被る人たちに知られたくないという態度に見える。</p> <p>・保育所について<br/>保育所の子育てにおける役割の重要性はもちろん、社会全体の中で、少子化対策・経済面でも重要な存在であることをしっかり認識して、表面的な数字しか見えていない机上の空論に乗るようなことのないように願います。高い保育料と税金・年金等も払いながら、大変な思いで働いている保護者にとって単純に保育所が経費のかかりすぎるお荷物存在と捉えられることは心外であり、財政状況の公表の仕方も含め、市への不信感が募っている。</p> <p>人件費が経費の多くを占めるが、人件費が高い原因は市の保育士職員採用の偏り・平均年齢の高さも要因の一つと考えられ、そのつけを単純に保育料値上げやソフト・ハード両面の経費削減に回されては納得できない。現場で子どもと走り回る事はつらくなったベテラン保育士は、経験を生かした他の子育て支援に移るだけでも、保育所経費は軽減できる。子どもや保護者に負担を押しつけるだけが能ではない。現市長就任前の事であるが、今年度から定員を増加し、ただでさえ混乱する中で同時に保育士対数の引き下げを強行して保育サービスを低下させている事実を知っているのか！その中で現場の職員も疲弊し、子ども達にも負担が及んでいることをどう考えているのか。緊急プランを公表しておきながら知りませんでしたでは、あまりにも不遜さん。知っていてさらに大幅な値上げという暴論を提示しているのなら、さらに不信感が募る。</p> | <p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p>  |

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方   |
|-----|-----|--|---|
|     |     | <p>・公立幼稚園が定員割れの中私立幼稚園児保護者補助金の必要性が疑問である。しかも補助金削減はH22年度からということは納得できない。多くの私立幼稚園が市内外にある中で、公立幼稚園の役割が不透明である。公立幼稚園があるなら補助金は必要なのか？補助金があるなら公立幼稚園の存在意義はどこにあるのか。</p> <p>・保育所・園の子育て支援としての役割は重大である。子供の生活全般に関わるため、保育の補完だけでなく相談機関としての役割も大きく、幼稚園ではできない範囲でもある。就学前の生活基盤を確立し、小学校での問題を減少させる効果もある。育児の社会化による少子化の抑制効果もあり、保育所・園世帯の子供の数は比較的多いと思われる。公立施設の重要な役割として、そうしたノウハウや人材を生かして発展させることで、職場と家の往復のみで地域社会から孤立しがちな保護者や子供たちにとっても地域社会と連携した子育て拠点として整備することができれば、箱物センターを新たに作るよりよっぽど安く、有効な拠点となる。</p> <p>保育所・幼稚園とも公立と民間園が共存する中で、公立であることの意義・役割を再認識し、子育て支援全体の中で再構築・発展させていく必要がある。</p> <p>・箕面森町をはじめとする認定子ども園や幼保一元化の話もあるが、直接契約となることに乗じた市の保育に対する責任放棄は許されない。厚労省案も公表されたが、保育の役割の重要性とそれに対する市の責任は担保するべきである。安易な経費削減のための幼保一元化や統廃合は避けるべきであり、その役割や在り方を十分検討していくべきである。</p> <p>・職員の採用抑制について</p> <p>正規職員の保育士の採用が長年ないことが問題として出ている。このままでは団塊世代の退職で保育所が立ちゆかなくなり、全所民営化の不安が残る。保育現場の停滞や保育技術の進歩について行けてない面も見られ、比較的若い非正規職員との溝も生じている。単純な人数の抑制だけではなく、長期的な人事計画を踏まえた子育て支援全体の中での適正配置が重要である。</p> <p>・限られた財源を有効に活用することが重要であり、その能力が市役所の中にあると信じたい。ただ負担を弱者に押しつけるだけではあまりにも単純すぎる。</p> | <p>ゼロ試案では、私立幼稚園児保護者補助金についても見直し項目にしています。</p> <p>・職員の採用抑制について<br/>保育所運営については、この間、保育所民営化、対数変更により経費削減に努めつつ、平成21年度に向けて退職補充の新規採用を行うなど適切な運営に努めております。</p> |
| 502 | 子ども | <p>・緊急プランの取り扱いについて</p> <p>一体市民の何%がこのプランの存在自体を知っているのか！市民への周知の努力がなさ過ぎる。大きな影響を受ける保育所保護者全体への周知に市保連や保護者会が頭を悩ませ手間をかけなければならぬ状況は納得できない。現状では、一応公表してパブリックコメントを募集しましたという体裁を整えるためだけの物で、実際には不利益を被る人たちに知られたくないという態度に見える。</p> <p>時間的に制約があっても週明けまででもしめ切りを延ばし、各地域で至急回覧板を回す、保育所・幼稚園や小中学校をはじめとする関連機関で、せめて緊急プランを出しましたというプリント1枚でも配布する方法はいつも考えられるが、結局何の対応もなかったことに不信感を抱く。</p> <p>・緊急プランの再検討にあたっては、担当部署や直接市民に接している現場の職員の意見も十分活用するべきである。</p>  | <p>「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p> <p>「拙速・性急すぎる、唐突に出てきた」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p>               |

| No. | 種別 | 意見   | 市の考え方   |
|-----|----|--|---|
|     |    | <p>・保育所経費について<br/>           保育所は開所時間も長く、0歳から保育しているなど幼稚園とは役割が異なるのに、毎年公表される財政状況の中では金額のみ単純比較で、一般市民に不当に高いという誤解を与えている。ましてや学校は人件費が除外されている。高い保育料と所得税等も払いながら、大変な思いで働いている保護者にとって単純に保育所が経費のかかりすぎるお荷物との存在と捉えられることは心外であり、働く事への不安や意欲の減退を招いている。実際、待機児童と保育料の高さが就業を妨げている。子育てしやすい日本一に反するのではないかと。さらに、生産人口の抑制や消費支出の減少など経済的にもマイナスであると考えられる。</p> <p>人件費が経費の多くを占めるが、人件費が高い原因は市の保育士職員採用の偏りも大きな要因の一つであり、そのつけを単純に保育料値上げやソフト・ハード両面の経費削減に回されては納得できない。今年度から定員を増加し、ただでさえ混乱する中同時に保育士対数の引き下げを強行して保育サービスを低下させた年度のうちに、このような値上げを提示されることはあまりにも強引であり、納得できない。また全体での値上げ金額のみの提示でありその具体的方法論がわからない中、実際には3割以上値上げの階層も生じる可能性があり、現実的には無理がある。</p> <p>未曾有の不景気の中、保育サービスの質を大きく低下させた年度内に保育料の大幅値上げを即実行ということは納得できない。</p> <p>民間園は一般的に職員の平均年齢を無理矢理下げることによって経費をまかなっている面があり、民間園への補助金も十分とは言えない。民営化の際にも問題点として指摘されている。</p> <p>保育所・園の子育て支援としての役割は重大である。子供の生活全般に関わるため、保育の補完だけでなく相談機関としての役割も大きく、幼稚園ではできない範囲である。就学前の生活基盤を確立し、小学校での問題を減少させる効果もある。育児の社会化による少子化の抑制効果もあり、保育所・園世帯の子供の数は比較的多いと思われる。そうしたノウハウや人材を生かし、経費削減だけでなく発展させることで、職場と家の往復のみで地域社会から孤立しがちな保護者や子供たちにとっても地域社会と連携した子育て拠点とする事もできるのではないかと。</p> <p>箕面森町をはじめとする認定子ども園や幼保一元化の話もあるが、直接契約となることが考えられ、民営化でも感じた市の保育に対する責任放棄の不安がある。厚労省案も公表されたが、保育の役割の重要性とそれに対する市の責任は認識すべきである。</p> <p>・職員の採用抑制について<br/>           正規職員の保育士の採用が長年ないことが問題として出ている。このままでは団塊世代の退職で保育所が立ちゆかなくなり、全所民営化の不安も残る。保育現場の停滞や保育技術の進歩について行けていない面も見られ、比較的若い非正規職員との溝も感じられる。単純な人数の抑制だけではなく、長期的な展望を踏まえた適正配置が重要である。</p> | <p>(49) 保育所の保育料については、所得階層の区分に応じた改定の影響を考慮するとともに、第2子以降の負担軽減策の検討も含め、保育料改定の検討期間を設けるため、平成21年度は改定を見送り、平成22年度予算において改定する考えです。</p> <p>保育所は、保護者が就労などにより家庭で保育できない場合に、家庭に代わって子どもを保育する施設です。その趣旨から、保育所運営に必要な経費をまかなうために、所得に応じて保育料をご負担いただくことが基本です。本市では、保育所運営経費については、保育水準を向上させるべく、国の基準額を上回る支出を行っています。また、これまで保育料は総額で国基準の7割を目安に設定しており、一般財源の負担が大きい状況です。さらに、他市町村と比較して平均的な保育料設定としつつ、3歳以上児の主食費を徴収しておらず、実費面での負担軽減を行っています。今後、一定額の負担増をお願いせざるを得ないと考えています。</p> <p>なお、所得に応じた負担という観点については、国が7つの階層区分であるのに対し、本市は19階層とし、所得の状況に応じた細分化を行っており、この点の考え方は継続する予定です。一方、保育所運営については、この間、保育所民営化、対数変更により経費削減に努めつつ、平成21年度は退職補充の新規採用を行うなど適切な運営に努めております。</p> <p>・職員の採用抑制について<br/>           保育所運営については、この間、保育所民営化、対数変更により経費削減に努めつつ、平成21年度に向けて退職補充の新規採用を行うなど適切な運営に努めております。</p> |



| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方 |
|-----|-----|--|-------|
| 517 | 子ども | <p>「緊急プラン」に関し、市立ひがし幼稚園保護者に対して、1. 保育料値上げ、入園料新設について 2. 市立幼稚園の統廃合について 3. ひがし幼稚園存続のため低予算でやりくりするアイデア 4. ひがし幼稚園の存続意義を高めるアイデア 5. その他 の項目で意見募集をしました。下記のような回答がありましたので提出いたします。尚、原文も同封しておりますのでご覧いただき、検討のほどよろしく願いたします。</p> <p>総回答数 46</p> <p>1. 保育料値上げ、入園料新設について<br/> 反対:21<br/> やむを得ず:20<br/> 保育料は仕方がないが入園料新設は反対3<br/> 入園料新設は仕方がないが保育料値上げは反対2<br/> 保育料値上げならば、それに見合うメリット(近隣の小学校の給食室を利用して給食制度、延長保育)を。</p> <p>2. 市立幼稚園の統廃合について<br/> 卒園時、その保護者が悲しむ。近隣に友達を作りたいので、徒歩通園できなくなる(現状でも遠くから通園してる人も)。それならばバスを運行してほしい。低所得者では私立は無理、私立に比べのびのびと過ごすことのできる公立が気に入ってるのに、近づくのは困る。同じ校区の友達が多いから市立に通っている。統廃合より園児数の減少を止める対策が先。公立幼稚園の縮小は、公共団体の「教育」放棄と捉える、私立では入園待ちがでる現状で、保育施設の縮小は公立といえどいかなものか。公立幼稚園は地域に必要な不可欠、子育てを地域と連携して行う大切さが重要。それをはじめて保護者が感じる場が市立幼稚園。今一丸となって地域一貫教育に力をいれている。兄弟の少ない子が、様々な人とふれあい、思いやりや接し方が学べる。一番大切な時間を自分たちの近所で経験させてあげたい。幼保一元化や市立幼稚園の延長保育等が加えられたりと考慮してもらえたら同意する。現状の少子化や市立幼稚園の定員割れを考えると統廃合は理解できる。保育園の統合は管轄の違いで難しいだろうから幼稚園が廃止される地域の小学校に幼児部を設けてはどうだろうか。</p> |       |

| No. | 種別 | 意見   | 市の考え方        |
|-----|----|--|--------------|
|     |    | <p>3. ひがし幼稚園存続のため低予算でやりくりするアイデア<br/>           保育用品のリメイクや家庭の不要品を利用。<br/>           ベルマーク、インカードリッジ、アルミ缶の回収。節電。<br/>           連絡事項をプリントを使わず、保護者の携帯へ送信する。<br/>           費用のかかる行事をなくす。</p> <p>4. ひがし幼稚園の存続意義を高めるアイデア<br/>           未就園児へのアピール(公開保育、体験保育、お母さんたちとの意見交流)をホームページ等で訴える。<br/>           その場合私立とは違った“自然との触れあい”“野菜、果物作りを通じ食べ物への感謝の気持ちや成長を確かめられる心を育む”“もちつき等四季を通じたイベント”を発信する。<br/>           小規模だが目が行き届いて、安心して預けることができ、親、先生とのつながりも強い。今こそこのような幼稚園は必要と市にアピール。<br/>           園庭の芝生化でイメージアップ。鳥取県での取り組みあり。低コスト。<br/>           自然共存など、元気なカラーで押し出す。裸足っこなど。<br/>           公立に入園すれば市から特典をだす。<br/>           地域の未就園児に対する園庭開放を充実させる。(回数を増やす、園児と遊ぶ機会を増やす等)<br/>           保護者が幼稚園時によかった経験などの意見を出し合う。もっと自然の中で自由に遊べるほうがよい。乾布摩擦もよかったのに、今は親がなんでもうるさすぎ。</p> <p>5. その他<br/>           ひがし幼稚園では同学区の小中学校との交流があり、双方にとって有意義。異年齢交流を今後継続してほしい。人間関係はどの社会でも一番大事。<br/>           地域の方にはさくらんぼ活動、また福祉会の方には各行事に参加していただいて、地域とのつながりが密。園児たちも親しみをもち積極的に挨拶している。<br/>           送迎時に保護者が先生とのコミュニケーションが毎日取れる利点。<br/>           まずは行政内で一般企業のように賃金カット、ボーナス支給なし、そして箕面森町のような無駄な投資をやめる。市民にいわせはだめ。<br/>           障害児への補助教員の加配等、公立だからこそ細かく対応できるのであり、そこに市が費用をださないのはおかしい。私立に比べてほのぼのしている。</p> <p>税制面で母親が働くことを推奨していながら、保育施設を縮小するのは母親の労働機会を制限することにはならないか？「危機的な」財政難でなるならばこそ教育、保育面は維持すべき。行政が教育と財政を両立できないならば、再建団体へ降格もやむなし。<br/>           いくら財政難でも園児が幼稚園で過ごしている以上は、安全面は絶対に怠ってははいけない。<br/>           ひがし幼稚園の耐震性は大丈夫か？遊具もプロによるチェックや修理は必要ではないか。子供がどんどん育てにくい社会になっていくことがとても不安で心配。今の子供が将来の社会に繋がるんですよ。「子供たちに明るい未来を」と言いながら、値上げや統廃合という厳しい手段でしか改革できないのか？これでは少子化が進んでも仕方がない。<br/>           今のひがし幼稚園は以前より少人数で、ゆとりがありみんなの顔と名前が覚えられ、すごくいい。<br/>           市外からも、転居を希望される箕面市にしていきたい。<br/>           この少子化といわれる時代にひがし幼稚園は3人以上子供が通っている家庭が多い。子供が多いからこそ公立幼稚園に通っているということを市がもっと考えて維持すべき。<br/>           3年保育の増設や親の委員負担減、地域のボランティアから協力を得るなどして園児数を増やす。<br/>           ひがし幼稚園はPTAの皆様も大変協力的。みんなで助け合い、保護者、園児、先生が近くにいるような声かけもできている。兄弟姉妹も幼稚園で顔見知りなのでいろいろな状況で助け合える。これから子育てする人も安心できる地域。</p> <p>(アンケート結果が添付されていましたが、省略させていただきました。)</p> | <p>市の考え方</p> |

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方 |
|-----|-----|--|-------|
| 518 | 子ども | <p>とよかわみなみ幼稚園区に在住しています。<br/> 平成23年度入園予定の子がいるのですが、その年の入園児より入園金¥10000、保育料¥10000になるとの噂を聞きました。また、園児希望者が少ない場合は、東幼稚園とも統合もあるかも…とのこと…本当のことでしょうか？<br/> 我が家は上2人の子供もとよかわみなみ幼稚園卒園児で、3人目も是非…と考えております。<br/> このところ入園希望者が少なくなっていますが、少人数でアットホームな雰囲気、子供も親もとても楽しく通園できました。<br/> 子供と手をつないで徒歩通園できる幼稚園もここだけで、とても大切なことだと思っています。<br/> 今後も是非現在のままで、とよかわみなみ幼稚園が存続してくれることを心より願っています。</p> |       |

「保育所保育料の改定」について、同種の意見が多く寄せられており、同じ回答内容になるため、初めに基本的な考えを示します。

「(49)保育所保育料の改定」

保育所は保護者が就労、疾病、介護などにより家庭で子どもの保育ができない場合に、家庭に代わって、保育を行う施設です。その趣旨から、保育所保育に必要な経費に充当するために、児童福祉法を根拠法令として保育料のご負担をいただいています。

具体的には、児童福祉法第56条第3項の「市町村の長は、本人又はその扶養義務者から、当該保育費用をこれらの物から徴収した場合における家計に与える影響を考慮して保育の実施に係る児童の年齢等に応じて定める額を徴収することができる」との定めを踏まえ、市規則「児童福祉法による費用の徴収に関する規則」に基づき、徴収しているものです。

本市の状況としましては、保育所運営経費については、保育水準を向上させるため、国の基準額を上回る支出を伴っており、一方で保育料は総額で国基準7割を目安に設定している中、一般財源の負担が大きい状況です。

例としましては、民間保育所に対する補助におきまして、国の定める運営費を15%上乘せする等、市単独の支出を行いながら保育所運営を行っています。

また、国の保育料の基準額は3未満児童の最高額で月額80,000円とされているところ、本市の最高額を月額57,900円とすることにより、国基準から月額22,100円を削減しているところで、年間総額として約1億5千万円の一般財源が、この削減部分に充当されています。(国基準保育料総額5億1千万円、現行市基準保育料総額3億6千万円)

所得に応じた負担を、という観点については、国が7つの階層区分を想定していることに対し、本市は、過去に国階層が細分化されていた経緯もふまえて、19階層とし、より細かい設定で所得の状況に応じた区分を設定しており、この考え方は継続する予定です。

一方、保育所の効率的な運営という観点から、この間、7所の公立保育所のうち3所を民営化する方針を出し、うち2所の民営化を実施したところです。また、公立保育所においても対数変更により経費削減に努めているとともに、平成21年度には退職補充の新規採用を行うなど、適切な運営に努めています。

なお、保育料改定については、平成21年度は見送り、平成22年度実施に向け検討を行います。検討に際しては、第二子以降の負担軽減策のあり方を併せて検討します。

保育料の近隣市の状況は以下のとおりとなっています。

- ・保育料平成20年度最高額(月額) 箕面市57,900円、豊中市57,700円、池田市62,300円、茨木市60,000円、摂津市55,800円、吹田市62,000円、高槻市56,600円
- ・主食費月額(3歳以上) 箕面市なし、豊中市1,000円(平成21年度より)、池田市1,000円、茨木市1,000円、摂津市900円、吹田市800円、高槻市1,300円

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方 |
|-----|-----|--|-------|
| 062 | 子ども | 保育所の関連についてですが、以前に民営化の話が出た際にも市にお伝えしておりますが、まず保育所の活用方法をもっと考えてほしいと…子育てプランの中でも自宅で保育している。専業主婦の為の支援を考えておられる中で、市内にある公立保育所をその支援のセンターとしての位置づけとして経験豊かな保育士さんが各家庭を訪問し、かつ、若い保育士を新規採用することにより、保育所を保育所としてだけの予算として計上せず、トータルとした場合(地域の子育て支援)には、もっと運用がうまくいくのではないかと思います。 |       |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方  |
|-----|-----|---|--|
| 084 | 子ども | 緊急プランの内容に反対です。一番は子供の事です。私は保育所に入れて働いてますが、みなさん生活が苦しいから働いているのです。楽な生活がしたいからではありません。主人だって給料が少なくなってるのが現状です。そんなときに、保育料の値上げや就学援助の見直しは本当にやめてほしい！！！！その計画は死ねといわれているのと同じです。私のように、思っている方や値上げや援助がなくなると困るどころか生活出来なくなり絶望してしまいます。どうか、もっと市民の現状を知ってください。会議とかで理想論だけで進めるのはやめて下さい！！！！もっと、市民のために現状を見てから意見してください！！！！議員の方は市民に選ばれてなられたのですから、市民の立場になって考えてほしいです。箕面市が子育てしやすい町になることを祈って、。。。。そのためなら子供のためなら反対運動も協力します。  | (8)児童・生徒への就学援助は、対象世帯の増加や国庫補助金が廃止されたことにより、市の財政負担が大きくなっているため、他市の動向等も見ながら、対象世帯の所得要件について、H22年度に向けて見直しを図っていきます。なお、ゼロ試算にある就学援助の支給基準が「生活保護基準×1.0」というのは、生活保護世帯のみを対象とするものではなく、同等所得の世帯をも対象とすることを想定しています。   |
| 099 | 子ども | 東保育所に1才児の子供をあずけています。保育料の値上げがあまりに急でびっくりしています。市民の意見を広くおききになり、もう少し検討してもらえないでしょうか？あまりにも急で納得できません。箕面市の財政は健全と思っていましたが、前市長時に急に悪化したのでしょうか？いずれにしても急に出てきたことでびっくりしています。保育料値上げ以外にムダづかいはありませんか？再検討よろしくお願ひします。  | 「なぜ、この87項目が改革検討項目に選ばれたのか？もっと他にも改革すべき事業があるのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。   |
| 103 | 子ども | 箕面市は吹田市に比べると保育水準が低いです。これは民営化すれば良いというものではなく、行政の保育方針が甘いからだと思います。子育て日本一を公約に掲げられた市長なのですから、他市の水準以上の内容を保証すべきです。このため、保育料の値上げには反対です。市民税非課税世帯、母子家庭です。保育料が一律値上げになれば、家計への圧迫がひじょうに大きく、保育所に預けられなくなり、仕事はできなくなり、生活保護世帯へとなり、従って市の負担は多くなるのではないですか？低水準家庭にはとても残酷なプランだと思います。子育てを守ってくださるのならば、もっと違うやり方で財政を立て直してはいかがですか。   | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。   |
| 106 | 子ども | 保育料の値上げは、子供たちの食費を削るにも直結します。市はこれまでの市の職員や議員たちの仕事の失敗のつけを子供たちに払わせようとしているのでしょうか。保育料の値上げは断固反対します!!  |  |
| 139 | 子ども | 保育料値上げに反対です！箕面市は子育てしやすい街を目指すのではなかったのでしょうか。経費削減なら、もっと他に削るところがあるのではないのでしょうか。保育料を国基準に移行されるのであれば、その前に職員の給与を民間レベルへ移行してください。この不況の風吹く中、民間は経費削減(人件費削減)に歯止めをかけられない状況にあります。民間では景気が悪ければ、ボーナスも一切支給されません。働きたくても無理やり休まされ、強制的に月給を減らされる事も多々あります。子供の将来の為に思い夫婦共働きで毎月高い保育料を支払い、高い所得税や住民税も収めている中、不意打ちのように保育料の値上げと言われても、納得いくわけがありません。そんな事よりも今大事な事は、「箕面市に住んで良かった！」と市民に思ってもらえる事ではないのでしょうか。また、箕面市を離れなくてはいけなくなった人たちが、「また箕面市に住みたい！」と思えるような街づくりではないのでしょうか。箕面市に人が集まれば、街の景気も回復し、それなりの税収入も見込めるでしょう。いかに最短で劇的に変化させるかという手法に変に固執されていませんか？一体誰に褒められる為の改革案ですか？市民ではなく、大阪府知事に称えられたいのですか？そんな改革私たちに必要ありません。少々辛口になりましたが、やはり子をもつ親として、また、箕面市を愛する市民の一人として意見せずにはいられません。削減案ばかりではなく、箕面市の財政に潤いを与える為の秘策等、プラスの方向で考えられないのでしょうか。 | 「市職員の人件費について」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。今回の緊急的な改革の目標は、平成25年度当初予算で経常収支比率を100%以下におさえ、基金依存からの脱却を図ることで、平成25年度までに経営を立て直すことを最優先に考えています。そうでなければ、将来に向けた重点施策を推進できないと考えるからです。まずは均衡を失っている財政バランスを回復し、健全財政を実現していくとともに、併行して、市長の重点政策である「みどり・住みやすさ」、「子育て」、「安心・支え合い」など、時代や市民ニーズの変化に対応した施策を具体化し、メリハリのある行財政運営を進めていく考えです。それら重点施策の実行により箕面市の魅力を高め箕面市に住みたいと思われる魅力あるまちにしていきたいと考えています。 |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方  |
|-----|-----|---|--|
| 143 | 子ども | 「子育て支援」全国一をめざす箕面市が、保育料の値上げを安易に提案することは矛盾しており、納得ができません。質が向上するのなら別ですが、ここ数年は保護者として、市の保育行政に疑問を抱き続けています。市長も「ゼロ」の方たちも、民間で働いている庶民がどのように辛い状況であるのか、わからないからこのようなことができるのでしょうか。もっとしんどい層に光をあて、直視し、向き合ってほしい。それでこそオンリーワンの行政になれるのではないのでしょうか。   | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。   |
| 148 | 子ども | 子育て支援、子育てしやすい最優先とかかかげられていますが、言葉だけで、逆の方向に向かっていていると思います。山を削って、緑を殺して、保育料を3割アップ今回して今後5年間のあいだにどれだけアップする予定ですか？段階的にアップすると聞いていますが最初のアップが3割という最終的に今の倍額をめざしているのですか？それでは子供を複数持つことも難しいですし、女性が働く機会をうばっています。それは逆効果ではないですか？税収が減りますよ。今後、日本全体でも人口が減少するのに新たに山を削って開発するお金があるのならば、病院、教育、福祉に利用すべきです。中心部に空き地が増えてます。治安も悪くなります。バランスを考えて下さい。今迄の市政運営の責任は、役所としてとらないのですか？それが4%～4.5%のカットですか？おかしいです。 | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。<br>「財政悪化の原因は何か？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。<br>「市職員の人件費について」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。 |
| 169 | 子ども | 今回の素案には失望させられました。とりわけ保育料の値上げに反対です。これまで保育士の削減および定員増により、保育の質が低下する中で値上げは許されません。万が一値上げするとすれば、これまで以上の付加価値をつけたいとおこなうべきです。   |  |
| 215 | 子ども | 予算を切ることは、これまで積み重ねてきた自らの仕事そのものを全否定することだと思います。役所の人間はそれで良いのでしょうか。一民間人として疑問を持ちます。保育所に子どもを通わせていますが、安易な値上げは受け入れられません。保育料値上げの撤回を求めます。  |  |
| 216 | 子ども | 市長は公約として「子育てしやすい日本一」を掲げてらしたのではないのでしょうか？保育料を増額されること、どのように子育てしやすさにつながるのか、まったく理解に苦しみます。家計を助けるため、子供を預けて働き、仕事が終わると休む暇なく家事に育児に追われる毎日、その上保育料が上がると私(妻)の収入のほとんどが保育料の支払いにまわさざるを得ない状況となります。介護・福祉・保育にこそ力を入れて予算を確保し、住みよい街づくりへ努力されることを切望します。保育料の値上げは絶対に反対です！！   | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。   |
| 234 | 子ども | 保育料が値上げされるのであれば、市長の「子育てしやすい日本一」はどうなるのか。単なる精神論ではなく、市長の権限を駆使して子ども施策を展開してもらいたい。保育所に子どもを預ける身としては、残念ながら、「箕面で子育てして良かった」と思えることは一度もない。特に近年の保育現場の荒廃は目を覆うものがあるが、荒廃した現場をさらに荒れさせるような政策は不要です。  | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。   |
| 238 | 子ども | 保育料の値上げに反対です。保育士の人件費が高いのは、新規採用を控え、正職員の高齢化が進んでいるからだと思います。東部に新設する子育て支援センターや他の部署へ正職員を異動させ、新たに年齢の若い職員を採用すれば、保育所事業の人件費は削減できるはず。緊急プランでは、カットばかりでコストを下げつつも子育て支援策を充実できるような妙案が一つもありません。もっと私たちの意見を取り入れてほしい。特命チームの方々は、どれほどの理念を持ち、また好事例を有する自治体の情報をつかんでいるのでしょうか。かなり疑問です。  |  |
| 239 | 子ども | 市民軽視の緊急プランに反対します。保育料の値上げのような重大事をこのような日程で秘密裏に通すやり方には納得できません。公約とも矛盾しますし、白紙撤回すべきです。  | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。<br>「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。   |

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| 244 | 子ども | プランをみていて疑問を感じたのは、平成21年度から実施されるものと、平成22年度以降に実施されるものの内容です。生活費に直結しないもの(利用しなくても大きく困らないもの)については、平成21年度から実施されても大丈夫だとは思いますが、保育所の保育料の値上げは、生活費に直結します。生活費に直結するものを準備期間も置かないで、いきなり値上げされてしまうと、生活設計に大きな影響を与えてしまいますのでとても困ります。せめて、平成22年度から8割の金額での実施にするか平成21年度からなら、75%からスタートするなどしていただけないでしょうかいきなり8割ということは実質10%以上の値上げ...何千円アップするのと思うとぞっとします。10%以上もの値上げにより(しかも再来年はさらに値上げ!)により、働くことをあきらめなければならない人も出てきてしまうと思います。「子育てしやすさ日本一」は、母親が家にいる家庭だけでなく、共働き家族や一人親世帯にも、もっと向けていただけたらと思います。保育所は以前に比べて子供に対する先生の数も減ってしまっていて、本当に心配です。もっと安心して保育所に預けることができる環境をつくってください。よろしくお願いします。 |  |
| 258 | 子ども | 保育料が高くなると聞き、非常に驚いています。そのような大切なことがほとんど市民に知らされないかたちで進められている聞き、さらに恐ろしく感じました。財政難のため、これまでどおりの行政サービスを受けられないことはわかりますが、より立場の弱い人の側に立つという、行政としての理念を置き去りにされては困ります。今回の素案は今後箕面市の現場を大きく荒廃させるものであり、抜本的見直しを求めます。   | 「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。<br>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。 |
| 259 | 子ども | 保育料の値上げという重大事が知らないうちに決まる恐ろしさを痛感しています。安易な値上げは生活のきびしい世帯を直撃します。私たちは何のために高い税金を払っているのか。役所はそのことをもっと考えてほしい。   | 「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。   |
| 260 | 子ども | 公立保育所にあずけています。「保育所の値上げについてですが、机上の空論だけで計画 実施だけはやめてほしいです。値上げにより仕事をする意欲を失わせたり、保育料を払えるようにするために残業や過重労働になったり家計の必迫は否めません。現場の保護者の方々の意見も踏って、プランとしてあがってきたのでしょうか。「子育てしやすさ日本一」という聞こえのよいキャッチフレーズに投票したワーキングマザーの期待を裏切るものほかの何もでもないように思います。現状にもっと目を向けて、現場の声に耳をかたむけてほしいです。   | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。   |
| 292 | 子ども | 市長の言う「子育てしやすさ日本一」というのは、保育料を値上げしたり、待機児童の解消の為に保育士対数も、施設の大きさ・設備も変わらない中で定員を増やす... という事なのですか？給料も上がらない、今のご時世に安易に保育料を値上げる市長の考えに絶対反対です。  | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。   |
| 293 | 子ども | 保育事業は、そもそも黒字化できるような事業ではないのです。だからこそ、市が直営すべき事業です。安易な値上げを容認することはできません。行政が行政たる所以を忘れたかのような緊急プランには非常に驚かされましたが、保育料の値上げについては撤回を求めます。   |  |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方  |
|-----|-----|---|--|
| 359 | 子ども | 市民のことをもっと知ってほしい。保育料が値上げされると、家計へのダメージが非常に大きく、生活できない。撤回を求めます。<br>素案発表から実施に至るまでのプロセスが不十分です。もっと時間をかけて議論すべきです。<br>現在、日本は少子高齢化社会、大企業による人材縮小化、世界的な不況による物価高ととても厳しい情勢にあります。その中で改革を進めるのは容易な事ではありません。箕面市も赤字を抱えて頭をいためていることでしょう。しかしそれは、底辺にいるサラリーマン家庭も日々、これらの情勢の中で節約して努力している次第です。赤字が出るのなら、収入を増やすか、支出を減らすかのどちらかです。収入は増えることはないから支出を減らす。しかし減らすにも限度がある。だから今回、問題になっている保育料の値上げが浮上した。我が家では5人の子どもを抱え、働かなくては生活がかなり厳しい。その保育料を上げられると、保育料のために働いていることになる。それでなくても応能負担という課税に対して均一に払う方式では、1人の子を育てると5人の子を育てるでは負担の違いが大きいのです。2003年7月『次世代育成支援対策推進法』成立、2004年6月『少子化対策大綱』が策定されました。我が家は次代を担う子どもをたくさんいるにも関わらず、より一層負担を強いられる。先日も生活保護不正受給者の増加が新聞で報道されていた。それらが解決するなら、まじめに税金を払う国民、市民が負担を少しでも軽くできるのではないかと。これからも不服申し立て、審査請求をして訴えていきたい！！ | 「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。   |
| 374 | 子ども | 保育料の値上げに絶対反対です！ 家計も苦しく、余裕のない世帯だからこそ両親働くのです。「子育て」を公約に掲げられたのであれば、是非とも撤回していただきたい。  | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。   |
| 399 | 子ども | 3歳児、1歳児クラスに保育所入所しています。今回のプランを見て、保育料の値上げについて意見させて下さい。たしかに箕面市の保育料は、国や他の市とくらべると、安いと思います。ですが、我が家の収入で保育料は、かなり大きな負担となっています。上の子(4歳)は、乳幼児医療も切れてしまい、病院代が1月7,000円から10,000円かかるようになりました。(喘息で定期的に受診・薬が必要な為)。大阪市から箕面市に転入してきましたが、私が箕面市に感じた事は、「お年寄りには優しいけど、子育てしにくい。」「高額所得者が暮しやすい」です。保育料を見ても、上限が現在57,900円。どれだけ所得があっても上限が低いので、高額所得の方は楽だと思えます。他の市では、上限が10万円以上の所もあります。(私の友人は、保育料が10万以上になり、保育所 私立幼稚園に転所させました。) 所得税の額が少ない階層ほど、生活は苦しいと思いますが、今回の値上げプランでは、所得税の額が少ない階層の方が値上げ額が多くなったり、逆に値下げになる階層もあります。弱い立場の人を追いつめる様です。「保育料は、所得税の？%」と、上限を決めずに設定できないでしょうか？ 市長の言われる「子育てしやすさ日本一」に期待していますが、このままでは市外に転出する事も考えています。   | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。<br>本市では、子どもを将来に向けた財産・宝であると位置づけ、子どもを安心して大切に育てることができるよう、平成21年4月1日から子どもの医療費助成の対象年齢を拡大しました。<br>通院についての助成対象は、これまで「3歳まで」でしたが、これを「小学校入学前まで」に拡大します。<br>入院についての助成対象は、これまで「小学校入学前まで」でしたが、これを「中学校入学前まで」に拡大しました。<br>さらに、すべての対象年齢で所得制限を撤廃します。これにより本市の子ども医療費助成は、大阪府においてトップレベルの水準となりました。 |
| 406 | 子ども | 箕面市内の保育所に子どもを2人通わせてます。今は、ひとり親のため、保育料は免除させてもらってますが、何年間か保育料を払っていたのでひとつではないと思います。意見を書かせてもらいます。親は、好きな事をするために保育所に子どもを通わせてるのではないと思います。人それぞれ生活もあるし、本当に大変な思いをしていると思います。私も以前は保育料を月3万円払っていました。聞くとはまだ金額が低い方です。もっともっと払ってる方はいっぱい居ます。これ以上保育料が上がると、保育料のために働いている様な気がします。そして昨年より市長になられた倉田市長の表明を読ませて頂きました。「子育てしやすさ日本一」本当にその通りだと思います。でも、このままでは「日本一」より「大阪一」にもなれないと思います。子育てと仕事が、バランスよく両立できる環境を作っていくてくれるのではないのですか？ 保育料upも白紙に戻していただきたいと思えます。私はいつまでも子どもの笑顔を見たいです。   | 「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。   |



| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 413 | 子ども | <p>子供二人が公立保育所にお世話になっています。今回の緊急プランにより保育料が4月より3割アップと市保連より連絡を受け、非常に驚いています。現市長さんは選挙の公約として子育てしやすさ日本一を掲げて当選されたはずなのに、今回のゼロ試算の中で公平な受益者負担というのであれば、保育料の入所者二人目は半額、三人目は無料というのは見直すべきではないでしょうか。人件費削減のためには公立保育所を全所民営化して保育士の年齢を下げれば実現するのではないのでしょうか。日常生活からも市から支給される無料のゴミ袋は廃止して全て有料にするべきだと思います。まだまだいろいろな方法で歳出改革は出来ると思います。一方的に保育料を上げるのは反対です。</p>   | <p>「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。<br/>現在、無料配布している「燃えるごみ」専用袋の無料配布枚数は、有料化前の排出量の10%減分で設定したのですが、平成19年度実績において、18%(対平成14年度比・1人1日あたり)の減量効果が出ており、一部の世帯において袋に余剰が生まれていることは確かです。ごみ減量の視点に基づき、将来的に、ご指摘のような無料配布枚数の削減を検討する必要があると認識していますが、有料袋を購入している世帯も依然として一定数以上あることから、今後、有料袋の販売枚数を参考に、また、ごみの減量、資源化など、本市の全体的な取り組み状況もあわせ、配布枚数等について検討する時期を見極めていきます。</p>  |
| 442 | 子ども | <p>箕面市立保育所で二人の子供がお世話になっている者です。財政苦難とはいえ、将来を担う子供たちの教育・保育から財政カットのため民営化や認定子ども園制度導入をすることが長期的にみてどんなに大変なあやまちであることかどうして理解してもらえないのでしょうか。不況の中、共働きが益々増えるであろう今日、子供たちが安心して、安全にのびのび楽しく元気に過ごしながら親の帰りを待ってくれる環境をこれ以上とり上げないで下さい。保育所民営化や子供対保育士の比などの影響がいたるところに出てきて、様々な問題があるという現状をどれだけ把握されているのでしょうか。財政カットが大切なことは重々承知ですが、子供や教育・保育のラインには手を出さないで下さい。将来の箕面を守るためにも...どうかどうか笑顔いっぱいがんばっている子供たちを守ろうと必死のたくさんの方々の声に耳を傾けて下さい。これ以上保育の質を下げ、その中で精一杯質を下げないで子供たちのために必死で負担を背負いながらがんばってくれている保育士の方々のためにも、もっともっと現実を知って、安易な決断、子供に影響を与えるような決断だけはやめて下さい。よろしくお願いします。</p>   | <p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p>   |
| 443 | 子ども | <p>1. 保育料の値上げについて<br/>再三、「これから検討される要素である」という説明でありながら、2009年度の予算に計上されていることに、あまりに拙速で「値上げありき」のこじつけを感じる。説明会などでの「素案であり、これから検討されるものである」という回答に従い、2009年度からの計上部分を取り下げ、再度検討されることを求める。<br/>2. 保育所の経費について<br/>実際の保育所にかかる経費について、正しく把握し、公正に評価された上で当プランに計上されているか。0才児～5才児が毎日10時間近く利用している点、保護者にとつての相談機関としての役割をも果たしている点、保育の質にかかわらず保育士の平均年齢の上昇が人件費を押し上げている点など、目に見える経費だけでなく、相対的な観点から正しく勘案された上での算出を求める。<br/>3. 保育所の役割について<br/>保育所、園の子育て支援としての役割は重大である。単純な保育機関だけでなく、相談機関としての役割、就学前の生活基盤を確立、育児の社会化による少子化の抑制など、ノウハウや人材を発展させることで、保護者や子どもたちの地域社会と連携した子育て拠点としての利用などの役割を担うことは、十分に可能であり、目先の安易な経費節減に特化せず、統括的なビジョンによる長期的な目線での計上を求める。<br/>4. 幼稚園再編について<br/>2008年の対市会議などでは、再三、「幼保一元化は検討していない」という説明を受けてきた。既にとどろみ園が幼保一元化を決定、今後、現存の幼稚園・保育所での幼保一元化もないとは言いきれない。今回の説明会での質問に対する回答も、「幼保一元化はある」であったことから、以前の説明に対する信頼は著しく失われたと言わざるを得ない。直接契約になることによる、市の責任放棄、給食、園庭、保育資格などに関する規制緩和による「幼稚園基準」での幼保一元化に著しい不安がある。実施には事前の慎重かつ十分な検討と説明を求める。</p> | <p>1. 「拙速・性急すぎる、突発的に出てきた」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。<br/>2. 保育所運営においては、例えば0歳児には3人に対して1人の保育士が必要であるなど、幼稚園や学校との単純な比較はできませんが、国における徴収基準を勘案し、適正な利用者負担を設定する必要があります。<br/>3. 保育所において、子育て支援担当職員を配置するなど、地域の社会資源として位置づける取り組みを従来から行うとともに、市立保育所における相談業務等の経験を活かすべく、保育士の経験を活用して、子育て支援センター、子ども家庭相談課を設置してきており、今後とも継続することとしています。<br/>4. (60)市立幼稚園の園児数は少子化の進展により減少しており、平成16年5月1日では552人、平成20年5月1日では467人と85人減少しています。<br/>一方で女性の社会進出や就労形態の変化により、保育所需要は年々増加し、保育所に入れない待機児対策が緊急の課題となっています。<br/>就学前の子どもの教育・保育をともに充実させる視点から、市立幼稚園と私立幼稚園の役割も考慮しつつ市立幼稚園のあり方について検討を重ねていきます。</p> |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方 |
|-----|-----|---|-------|
| 456 | 子ども | <p>はじめてパブリックコメントを提出いたします。<br/>HPで緊急プラン・ゼロプランを拝見いたしました。<br/>「安心・支えあい最優先」「子育てしやすさ日本一」「緑・住みやすさ最先端」という重点施策は大変に同感<br/>でき、その目標のためには、私自身も市民の一人としてがんばろうと思うところがございます。<br/>が、ひとつお願いがあります。特定財源確保の教育に関するところで、保育所保育料改定がありますが、<br/>年度ごとに上げられる値上げ幅が、家計に対して大きいと感じます。値上げにすべて反対、というわけ<br/>ではございません。H21年度から早速、妊婦健診費助成拡大、乳幼児医療費拡大が着手され、「給」を配っ<br/>ていただけるようですし、質の良い保育を継続するには、保育所経費というのは莫大なものになる、とも<br/>存じておりますが、値上げ幅を今、提示されているものより、少し小さくしていただきたいと、希望します。<br/>私自身は、市立保育所に子どもが在籍しており、大変お世話に(言葉では言い表せないくらい感謝)なっ<br/>てきましたが、H21年度には小学生になるので、直接は関係がありません。が、働きながら子育てをして<br/>いく保護者同士の生活のことを考えると、他人事ではありません。より良い仕事をして、仕事ができること<br/>に感謝を忘れず、地域の皆様とともに次世代を育てていく、そういう士気を高めるためにも、よろしくご検<br/>討お願いいたします。</p> |       |

「青少年海外体験交流事業の見直し」について、同種の意見が多く寄せられており、同じ回答内容になるため、初めに基本的な考えを示します。

「青少年海外体験交流事業の見直し」

(18) 青少年海外体験交流事業は、ニュージーランドのハット市との国際協力都市提携を契機に、現地青少年等との交流・親善を通じて、国際的視野を広め、本市の青少年活動の推進を図ることを目的に実施してきました。しかし、事務事業の見直し、経費の節減合理化、また、行政、国際交流協会と市民間の役割分担と適正な受益者負担のあり方などを含めて検討するため、平成21年度から一旦事業を休止することとしました。

今年度については、10月又は11月にハット市の中学生の受け入れを計画しています。青少年に対する国際交流活動のあり方について、今後も引き続き検討していきます。今後は、これまでの交流を踏まえ、子どもたちの絵画や両市を紹介する写真作品などの巡回展示を通じ、多くの市民が両市の交流について知り、考える機会を設けます。また、市民主体の国際交流を継続するために、両市間で情報交換しながら、行政間のみならず、市民間の結びつきも強固になるような交流の方法について検討していきます。

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 075 | 子ども | <p>私自身子供は独立し、他市へ転居、孫も他市に居住している。従って次に申し上げることは、私自身の私利私欲ではないことをまず、お断りしておきたい。</p> <p>緊急プラン100のうちに18番青少年海外体験交流事業見直しが入っているが異議を唱えたい。これは単にそれに参加する子供だけではなく、それを目ざして勉強しようという動機づくりにもなるし、帰ってきた生徒からの実体験から学ぶことが出来る。</p> <p>海外に行くだけが英語の勉強ではないのは十分承知している。子供の夢をうばわないでほしい。329万という対費用効果は大きいと思われる。市長公約の「子育て、緑、安心出来る支えあい」の子育てに反する。市職員はこの赤字財政のなか一般サラリーマンよりはるかに高額な給与を手にしておられるとき、又人口比率に対して議員数が多いのも事実だ。この辺の見直しが先ではなからうか。4.5%、4%といわず5~6%でも</p> | <p>(7)市職員の給与は、人事院や大阪府人事委員会による職種別民間給与実態調査結果とそれに基づく勧告内容により見直し給与改定を行っています。また、これら勧告を踏まえた給与改定に加えて、本市の財政状況等を考慮して、市独自に給料月額・期末勤勉手当のカット、昇給の停止(12ヵ月先送り)などの取り組みを実施したほか、年功的な給与構造の見直し(給与カーブのフラット化)により給料表の平均6.9%引き下げなどを行い、平成20年4月現在の給料水準を計るラスパイレース指数(国家公務員を100とした指数)が98.3(府内市では21番目の水準)となっています。</p> <p>さらに、平成21年1月からは、職員給料・職員手当カット(管理職4.5%削減、管理職以外4%削減)を実施しましたが、引き続き、極めて厳しい財政状況であることから民間給与の調査結果等も踏まえながら、人件費の抑制を進めていきます。</p> <p>また、職員手当については、国家公務員や近隣自治体における給与制度、民間給与との均衡等を基本に制度化していますが、社会情勢の変遷や財政事情などを踏まえて、住居手当の一律カット、通勤手当の支給基準の引き下げ、特殊勤務手当の22手当から15手当への削減と単価の引き下げ、また、退職手当の支給率の引き下げと退職時特別昇給の廃止など諸手当全般にわたり見直し・削減を順次実施してきました。今後も、引き続き、手当の種類、額及び支給基準などを必要に応じて見直し、適正化を図っていきます。</p> <p>「市会議員について、人数や報酬を見直すべき」の回答は、総論(3)を参照して下さい。</p> |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方 |
|-----|-----|---|-------|
| 160 | 子ども | <p>3. 事務事業の見直し<br/>番号18「青少年海外体験交流事業」(休止し、交流の方法の見直し)について<br/>私は箕面市ハット市友好クラブの代表として標記の提案に大きな衝撃を受けました。この事業自体は教育委員会が主催するもので当クラブは応援する立場ですが、ハット市との姉妹都市交流を進める立場から今回の提案を憂慮し意見を述べるものです。同時に私は2006年から2007年にかけて大阪大学の大学院生として姉妹都市交流をテーマに調査・研究する機会を持ちましたので、そこで得られた知見を参考に今回の提案を客観的に検討し、最後に具体的な対案を提出したいと思います。<br/>(簡潔に骨子のみを記述します)</p> <p>1. 日本の姉妹都市交流<br/>日本の(国際)姉妹都市交流は1955年長崎市と米国のセントポール市との提携に始まり既に半世紀の歴史を有する。この間その提携数は拡大の一途をたどり、2006年3月現在、843の自治体が1,548の提携を結んでいる。時代環境の変化と共にその存在意義が問い直されてきたが、現在も市民の国際化に貢献する仕組みとして広く認知され推進されている。</p> <p>2. 青少年の教育交流事業<br/>今日姉妹都市交流の名のもとにさまざまな交流活動が展開されている。平成17年度に全国の自治体が実施した交流事業の総額は4,054百万円に上るが、分野別に見ると教育交流が38パーセントと2位の文化交流(10パーセント)を大きく引き離している(「姉妹自治体の活動概況2006」(財)自治体国際化協会)。この教育交流の中心となっているのが青少年を相手の姉妹都市に短期間派遣する交流事業である。これは偶然ではない。姉妹都市交流の主体は市民(成人)だが、自治体が支援する事業としては次代を担う青少年の教育に最大の眼目が置かれている。感受性豊かな若い時期の異文化体験は異文化との対話能力を高めるためのトレーニングであることが広く認められているからであろう。</p> <p>3. 箕面市青少年海外体験交流事業<br/>箕面市も例外ではない。1995年に調印された国際協力都市提携の盟約書のなかでまず第一に取り上げられているのはこの教育交流である。事実、最初の数年は行政の強力なリーダーシップのもとでさまざまな交流が進められたが、その後首長が変わり、現在も継続されているのは周年事業を除けばほぼこの青少年の交流事業のみとなっている。<br/>この事業は提携された初年度から現在まで14年間休まず毎年実施され、これまでに300名近い中学生がハット市に派遣された。当初は30名近い中学生が抽選で選ばれ市が全額費用を負担していたが、その後少しずつ事業の見直しが進められ、昨平成20年度においては15名が書類審査・面接を経て選ばれ、費用のほぼ半分(18万円/人)は保護者負担となっている。</p> <p>4. その教育効果について<br/>この事業では、中学生達は約一週間ハット市民の家にホームステイして現地のハイスクールの授業に参加し、また英語研修、マオリ文化体験、観光などを行う。<br/>私はこうした体験が中学生にどのような影響を与えるのかをテーマに、箕面市教育委員会の協力を得て、平成17年度の事業に参加した中学生、その保護者、5年前(平成13年度)および10年前(平成8年度)に参加した卒業生を対象に、アンケート・面接・記述分析を行った。調査期間はほぼ一年にわたり、得られた貴重な資料を分析・考察して修士論文にまとめた。ここではコミュニケーションの発見ともいうべき、体験の核心部分のみを紹介したい。<br/>参加した中学生にとって親元を離れて一人見ず知らずの外国の家庭に泊まるのは大冒険である。対面して挨拶しても言葉がほとんど通じず、多くの中学生はパニックに陥り、最初の晩は落ち込む。しかし、あきらめずに会話を試みていると、時間と共に二言三言通じ合えるようになってくる。それは新鮮な感動を伴うコミュニケーションの発見で、日本を離れ、異文化に接触することによって始めて可能となる体験であった。今までは暗記科目でしかなかった英語が生きた言葉になるのもこの時である。<br/>日本にいたときには空気のように当たり前と思っていたことが実は当たり前ではないということを発見する異文化体験は、日本での自分自身を振り返るきっかけにもなり、自身の枠組みを広げることにつながる。それは結局自分の育った文化を相対化する行為であり、異文化との対話能力を高めることになる。</p> |       |

| No. | 種別 | 意見   | 市の考え方 |
|-----|----|--|-------|
|     |    | <p>5. 費用対効果という観点から<br/>この事業に参加できるのは15名である。参加した学生に対する教育効果は十分認められるとしても、少数の個人に税金を使うのは不公平ではないか、という議論がある。だが、これには誤解がある。まず、この事業への参加の機会が箕面市のすべての中学生(現在は2年生・3年生が対象)に公平に等しく与えられていることである。4月に入ると市内の全中学生に学校を通して教育委員会作成の案内のチラシが配られる。最近では毎年50名前後の申し込みがある。329万円の予算で市内の全中学生に海外に行くチャンスが与えられるこの事業は、費用対効果という観点からすれば抜群に優れた事業ではないであろうか。このような機会のない他市の中学生からみれば箕面市の中学生が羨ましいであろう。間違いなくこれは箕面市の豊かな教育環境を示す一つの指標である。一方確かにこの事業は他の補助金や助成金などと違って無くなればすぐに市民生活に影響が出るという性格のものではない。この事業は、教育が常にそうであるように、未来への投資である。この投資の成果が現れるまでには時間がかかる。しかし、この種の投資を欠いて豊かな市民生活の未来は描けるであろうか。</p> <p>6. 姉妹都市提携は相互信頼に基づく国際関係である<br/>国と国との契約は条約と呼ばれその遵守が義務付けられる。時に主権国家間の利益は対立することもある。一方姉妹都市提携とは都市と都市との契約であり条約ほどの束縛力は無く、また内容的にも交流を誓いあう相互信頼をベースとした国際協約である。しかし、特別な事情が発生しない限りその契約内容を実現するようお互いに努力することが暗黙のうちに期待されていることには変わりがない。最近の箕面市とハット市の関係ではこのバランスが崩れていることが心配である。ハット市のオグデン市長は昨年再選を果たしたが、この4年ほどの間に周年事業も含め三度来訪している。またそれに同行して市の幹部や市議会議員も来訪している。一方箕面市側からはこの間市長だけでなく市議会関係者や市役所職員の公式訪問も一度も実現されていない。それに加えて、今回箕面市側が一方的に中学生派遣を休止するような事態となれば両市の信頼関係が大きく損なわれる恐れがある。</p> |       |

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方 |
|-----|-----|--|-------|
|     |     | <p>7. 私の提案<br/>ハット市と相談してほしい</p> <p>中学生の派遣事業は箕面市がお金を出しただけで実現できたのではない。受け入れるハット市側の物心両面にわたる協力があってはじめて実現できたのである。いわば両者の協働の産物である。この事業にはパートナーが存在するわけで、休止するのであればまず相手に相談するのが国際間の常識であろう。市の一存では決められない性格のものである。もちろん、それぞれの都市には事情があり、それは尊重されるべきであるが、両市が率直に話し合う中で良案が生れてくるのではないかと、ハット市はニュージーランドの中でも行財政改革に成功した自治体として有名である。</p> <p>ここで思い出されるのはかつてハット市側から派遣されていた英語指導助手 (Assistant English Teacher: AET) が打ち切られた経緯である。この制度は箕面市アウトソーシング計画の中に組み込まれ4年間で廃止されたが、計画を後から知ったハット市側より7名を2 - 3名に減員し、また一部経費を負担してもらいので続けられないかと申し出があった。しかし既に手遅れで、これは今でもしこりとして残っている。</p> <p>これまでに両市の間では1,000人近い市民がお互いに訪問しさまざまな実績を積み上げてきた。困った時にはお互いに相談し助け合う信頼関係は醸成されてきている。両市の関係が「姉妹」と呼ばれるのもそこに意味があるのではないかと。結局、姉妹都市交流とは歴史も文化も宗教も異なる人間同士が国境を越えて相互理解・相互信頼を深めていく過程ではないであろうか。</p> <p>ここでヒントとなるのは、昨年11月オグデン市長以下14名の行政チームが来訪した際、ハット市から箕面市に小・中学生を派遣するアイデアが打診されたことである。今後両市が隔年に学生を派遣することは一つの解決策になるのかもしれない。</p> <p>交流方法の見直しには賛成</p> <p>今回の「緊急プラン」に基づく「ゼロ試算」では「青少年海外体験交流事業」を「休止し、交流方法の見直し」となっている。休止せずに継続する中で、しかし見直すことには賛成である。前述の通りこの制度は今までも見直されてきているが、まだまだ工夫する余地がある。この提案を契機に、教育委員会、現場の学校教師、市民等の関係者が集まり、よりよい交流事業を目指して検討を重ねたらどうであろうか。全国どこにも無い箕面市独自の時代にあった青少年海外体験事業を作り上げることこそ目指すべき方向であろう。また、そこに希望があると思う。</p> |       |
| 162 | 子ども | <p>「ゼロ試算」に掲げられた改革番号18「青少年海外体験交流事業の休止」に反対します。</p> <p>この事業は箕面市が友好を結ぶハット市(ニュージーランド)との協力のもと、長年にわたって推進されてきた経緯があり、この間交流事業に参加した中学生たちの帰国報告会を聞いてみれば端的にわかるように、将来国際社会に加わっていく青少年にとってとても貴重な機会を与えてくれるものです。わが家の二人の子どもも、それぞれ中学生の時にニュージーランドへ派遣していただき、ホ - ムステイ先をはじめ、現地の人々とのいろいろな交流を通して、狭い日本での日常生活では得られない異文化体験を重ねることができました。</p> <p>これまでも、この事業の実施にあたっては、箕面市のスタッフのみならず、関係諸団体の甚大なる協力・支援を仰いできました。その厚意を無とすることなく、引き続き「青少年海外体験交流事業」が実施されますように要望いたします。</p>  |       |

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| 363 | 子ども | <p>私の娘も平成18年度の青少年海外体験交流事業に参加させて頂きました。参加することに決まった時は、親としては大変不安に思い心配しましたが、出発までの期間に教学の森で一泊研修等、ていねいなオリエンテーションがあり、一緒に行く皆さんとも、親子共々親しくなれて、安心して出発の日を迎えることが出来ました。陰でご尽力下さった箕面市のお世話役の皆様にも本当に感謝しております。また、内容に関しても、単にホームステイをしてどこかを観光するという一般の旅行社主催のものとは違い、自分達で計画を立てたウエルカムパーティに始まり、ハットバレイスクールでの体験授業や交流イベント等、「海外体験」だけでなく「交流」も加えた内容であったことは、箕面市が主催すればこそのものであったと思います。帰国の日、空港のゲートから出てきた子どもたちの顔は、どの子も10日前とは見違える程、たくましく、充実した笑顔であったことが忘れられません。現在、娘は高校生になりましたが、ハット市でホームステイをした家族との文通や一緒に行った仲間達との交流(よく同窓会をしています)をしていますし、何よりも、この貴重な体験は、彼女の今後の進路を考える時にも礎となることと思います。私は、これからも、より多くの子ども達に、このような素晴らしい体験のチャンスを与えて頂けることを願ってやみません。どうか、箕面市の未来を切り開く子ども達の為に青少年海外体験交流事業を続けて下さいますようお願いいたします。</p> | 市の考え方  |
| 053 | 子ども | <p>「子育てしやすさ日本一」について<br/> 1、認可保育所定員増加による待機児童解消より、人件費(職員)を削減し、やみくもに児童をつめこむ、という印象をもちました。<br/> 現在、子供を市立保育所に通所させていますが、2年の間に児童数は増えているにも関わらず、職員の数に変化はなく、職員ひとりあたりにみる児童数が増えただけです。結果、児童にしわ寄せが起きているのは確かであり、職員の意見としては「児童が増えたので…」という言い訳をするばかりです。<br/> 問題点・教育行政<br/> 市長、政策担当者の方に参考として、フィンランドの教育について言及させて頂きたいと思います。フィンランドでは「教師」はとても尊敬される職業です。フィンランドの教育のキーワードは3つです。「すべての子供に平等な教育を」「現場への信頼」「質の高い教員の養成」日本の理念もそう変わらないかもしれませんが、理念を実現するための仕組みが実際に存在し機能しているのでしょうか？<br/> 今の職員を見ていて、もしくは自分が受けてきた教育を思い出してみても機能しているとは思えません。フィンランドでは国・自治をあげて実行できているといえます。<br/> 市長へ必ず、読んでいただきたい。</p>   | <p>「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。<br/> ・箕面市教育委員会では、平成13年11月に「箕面市教育改革プログラム」を策定し、「学校園の自主性・自律性の確立」及び「地域コミュニティの形成」を大きな柱として、学校協議会をはじめとして学校・家庭・地域の連携のもと、特色ある学校づくりに取り組んでいます。また、各校の創造的な教育活動を教育委員会として支援するよう努めて参ります。<br/> ・信頼される教職員になるために、一人ひとりが自己研鑽を重ねることはもとよりですが、教職員が自らの意欲・資質の能力を一層高め、学校や校内組織の活性化を図るために教職員の「評価育成システム」を大阪府として導入しています。今後も、市の教育センターでの研修を充実する等、教職員の力量を高めるよう支援をまいります。</p> |

| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方  |
|-----|-----|--|--|
|     |     | <p>・「子育てしやすい日本一」を掲げたのは税収を期待して若い世代を取り込むだけのものだったのでしょうか？</p> <p>・選挙に勝つためだけだったのでしょうか？</p> <p>・子供たちに残したくないものが「負の財産」ならば、残したいものはなんなのでしょうか？</p> <p>ゼロ政策を拝見し、なんと浅はかなプランかと素人ながら感じました。市長の政策は目先しか見えず、今の子供たちの「子供」ずっと先の未来までつながるようには思えません。驚きました。あきれました。社会が健全であるためには教育を見直すしかありません。</p> <p>ここにはお金をかけるべきです。まんべんなく削減ではいけないのです。見極める目をもつ方はいないのでしょうか？教育は、子供のためです。未来のためです。市の財政対策、教師や親、学校、教育委員会のためではありません。</p> <p>教育行政は、評価や統制で教師や学校をしぼりつけるのではなく、現場を信頼することが大切ではないでしょうか。より子供の近くにいる教師、学校に裁量と権限を持たせる。教育委員会はサポートに徹する。UPであってはならない。そして、教職員は未来の人材づくりに携わる誇りと責任をもち、専門職として自己投資を続けていくべきです。毎年、「誰か」が決めた代わり映えのない過程をロールプレイングのようにこなしては行けない。私が受けた公立の授業は大変ひどいものでした。市長にも経験があるのではないのでしょうか？フィンランドは税金が高いことでも有名です。ただ、政策がしっかりしており、透明感のある政治をやっているならば税率が高くても支払います。浅はかな政策には一円たりとも多く支払いたくありません。「子育て」を前面に掲げ、当選したならば、もっと教育について深く考えるべきです。若さゆえでしょうか？ 同世代の市長に期待をした私たちががっかりさせないでください。</p> |  |
| 183 | 子ども | <p>「緊急プラン」は市のホームページやいくつかの市の施設で閲覧しているのみで多くの市民というか全市民に伝わっていない。どこの家庭もパソコンがありインターネットをできる状況にあるわけではない。体が不自由で外出が困難な人もいる。そういう人達にこそ知らせなくては行けないのでは…。弱者( といいういい方は良くないかもしれませんが … )を見捨てたやり方！！</p>   | <p>「PR・周知徹底が不十分、意見募集の期間が短すぎる」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p>  |
| 194 | 子ども | <p>子どもは財産であり、将来を期待されている存在です。その子どもをもっと大事に育てる為に箕面市の「緊急プラン」には賛成できません。もっと他のムダ遣いをなくしてほしいです。</p>   | <p>子ども達に対する施策はゼロ試算の対象となっているものだけではありません。箕面市では健全財政をめざすとともに、子ども施策などの重点施策についてはメリハリのある行財政運営を進めていく考えです。</p>  |
| 269 | 子ども | <p>箕面市長にせよ、大阪府知事にせよ、弱者を守るという「理念」が欠落しています。(小泉元首相も東京都知事も同様ですが)保育料の値上げなど言語道断だと思います。予算の「一律カット」はポリシーのなさの表れです。どこを守ってどこを切るのかをもっと考えてほしいです。</p>   | <p>「社会的弱者など市民生活への配慮が足りないのでは？」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>(49)保育所の保育料については、所得階層の区分に応じた改定の影響を考慮するとともに、第2子以降の負担軽減策の検討も含め、保育料改定の検討期間を設けるため、平成21年度は改定を見送り、平成22年度予算において改定する考えです。</p> <p>保育所は、保護者が就労などにより家庭で保育できない場合に、家庭に代わって子どもを保育する施設です。その趣旨から、保育所運営に必要な経費をまかなうために、所得に応じて保育料をご負担いただくことが基本です。本市では、保育所運営経費については、保育水準を向上させるべく、国の基準額を上回る支出を行っています。また、これまで保育料は総額で国基準の7割を目安に設定しており、一般財源の負担が大きい状況です。さらに、他市町村と比較して平均的な保育料設定としつつ、3歳以上児の主食費を徴収しておらず、実費面での負担軽減を行っていますが、今後、一定額の負担増をお願いせざるを得ないと考えています。</p> <p>なお、所得に応じた負担という観点については、国が7つの階層区分であるのに対し、本市は19階層とし、所得の状況に応じた細分化を行っており、この点の考え方は継続する予定です。一方、保育所運営については、この間、保育所民営化、対数変更により経費削減に努めつつ、平成21年度は退職補充の新規採用を行うなど適切な運営に努めております。</p> |



| No. | 種別  | 意見   | 市の考え方  |
|-----|-----|--|--|
| 474 | 子ども | <p>・どんな箕面市にするのか。子育てしやすく、住みやすくするためには何を削り、何を残すのか。もう少し時間をかけて考えた方がよいと思います。</p> <p>・第2市民プールの廃止はなぜですか？東部の子供達のためにプールを改修することが必要だと思います。</p> <p>・説明会に参加して、開発の経費削減は多くの市民が望んでいると感じました。</p> <p>・説明したし、意見も聞いたからこれでおしまいではなく、パブリックコメントがどのように反映されるのか気になります。多数意見は民意と受け止めると、職員の方が言われました。予算案ができた時点で、是非もう一度市民に公表をして意見を求めて欲しいです。</p>   | <p>「拙速・性急すぎる、突発的に出てきた」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(1) を参照して下さい。</p> <p>(62) 第二総合運動場は設置後約30年を経過し、施設全体の老朽化が進んでおり、将来、多額の改修経費が必要になると予想されます。また、施設規模的に駐車可能台数が絶対的に不足しており、周辺環境の改善も含め、総合的な施設活性化計画を検討していく必要があります。このため、市民プールの改廃や駐車場の整備など、費用対効果を勘案しながら、さまざまな視点で検討を始めているところです。東部地域におけるスポーツ拠点として第二総合運動場は重要な役割を担っていることを踏まえつつ、慎重に検討していきます。</p> <p>「大規模開発について」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>「資料がわかりにくい、情報が不十分」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(2) を参照して下さい。</p>   |
| 495 | 子ども | <p>私は、箕面市立西南小学校に勤務しています。まず、緊急プランに対し、怒りの念を禁じえません。以下、学校現場サイドからみでの意見に絞って、述べさせていただきます。市財政の歳入や教育関係以外の歳出に関しては、それ相応の対応があると思っており、割愛します。</p> <p>「子育てしやすさ日本一！」というスローガンを言いながら、中身はその反対で、子育てをよりこんなものにするもである。例えば、「児童・生徒就学援助の見直し」で「認定基準の見直し(所得要件を生活保護基準に)」ということになっているが、今の学校現場で、就学援助に頼って、なんとか学校生活をよりよく過ごしている児童生徒は多い。この基準が下げられた時、子どもの家庭環境への影響は大きい。子どもたちが生き生きとした生活をおくることが困難になり、学業への影響も大きくなる。</p> <p>「身体障害者手帳診断料助成の見直し」での「市単独の上乗せ分を廃止」についても、支援教育への期待が高まっているなか、精神的にも大変な思いをしている家庭に対して、より子どもの実態を把握するための手立てに対して、自己負担を増やすなどとは、ハートのある行政のすることではない。憲法で保障された教育権をより充実させることのひとつとして、残してほしいものである。</p> <p>「学校教育関係人員配置の見直し」の「生徒指導担当者授業支援員など学校支援体制の総合的な見直し」で、一体学校現場でどういう役割をしてきているのかを見てくれているのかと問いたい。削減の対象ではなく、むしろ反対により充実させていく必要があるものである。さらに言えば、学力の向上を図る上でも、学級定数を35人にとりあえず引き下げていく方向に、箕面市としても追求してもらいたい。行政サイドで安易に財政面のみで判断してほしくない。</p> <p>「第2市民プールの廃止」についても、学校のプールが夏休み中、毎日実施されるわけではない以上、また市民の健康増進を図る上でも、温水プール化して、1年中利用できるようなしてほしいものである。なのに、廃止などというのは論外である。</p> <p>「彩都地区小中一貫校建設」の「精査・圧縮」については、本当に必要な学校規模(一貫校にする必要は全くない)にすればよい。一貫校の必然性がない。建築業者のための「えさ」はやめてほしい。</p> | <p>「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> <p>(8) 児童・生徒への就学援助は、対象世帯の増加や国庫補助金が廃止されたことにより、市の財政負担が大きくなっているため、他市の動向等も見ながら、対象世帯の所得要件について、H22年度に向けて見直しを図っていきます。なお、ゼロ試算にある就学援助の支給基準が「生活保護基準×1.0」というのは、生活保護世帯のみを対象とするものではなく、同等所得の世帯をも対象とすることを想定しています。</p> <p>(11) 現在、身体障害者手帳の交付の申請に必要な診断書文書料(概ね平均5,250円程度)について、申請者の世帯の収入にかかわらず市が全額を助成しています。しかし、大阪府制度では助成対象を非課税世帯に限定しています。市の深刻な財政状況を踏まえ、今後、低所得者への助成を継続確保していくため、市が単独費用で助成している課税世帯への助成を平成21年10月から廃止し、非課税世帯への助成を引き続き実施します。</p> <p>(17) 広範で、複雑多様化し、深刻化している最近の小中学校での様々な生徒指導上の課題に対して、生徒指導担当者授業支援員が配置されることで、生徒指導担当教員が生徒指導に専念でき、未然防止・早期発見・早期対応につながっています。また、新規教員が大量採用される中、若手教員への支援として、市費の教育専門員も配置しています。</p> <p>今後、学校への人的配置については、教員への支援がより効果的・効率的となるよう、平成22年度に向けて総合的に検討していきます。</p> <p>(62) 第二総合運動場は設置後約30年を経過し、施設全体の老朽化が進んでおり、将来、多額の改修経費が必要になると予想されます。また、施設規模的に駐車可能台数が絶対的に不足しており、周辺環境の改善も含め、総合的な施設活性化計画を検討していく必要があります。このため、市民プールの改廃や駐車場の整備など、費用対効果を勘案しながら、さまざまな視点で検討を始めているところです。東部地域におけるスポーツ拠点として第二総合運動場は重要な役割を担っていることを踏まえつつ、慎重に検討していきます。</p> <p>(68) 通学距離等の問題もあわせて考慮した結果、彩都地区のまちの成熟に合わせ、小中一貫校として整備するのが妥当であるとの結論に至りました。事業費については、できるだけ圧縮するよう検討していきます。</p> |

| No. | 種別  | 意見  | 市の考え方   |
|-----|-----|---|---|
| 521 | 子ども | <p>倉田市長へ</p> <p>あなたは公約で「子育てしやすさ日本一」を掲げていたのではないのですか？</p> <p>経費の削減は、確かに必要です。</p> <p>しかし、必要なところから削ってどうするのでしょうか？？</p> <p>子供の産みやすい、育てやすい、共働きしやすい環境を作ることこそが、子育てしやすさ日本一です。</p> <p>頭で考えるのではなく、頭の固い年寄り自民党議員の意見に右へ倣えするのではなく、現場の声を自分の足で直接行って、聞いて考えてください。</p> <p>最初に経費を削減するのは、福祉からではないということを心に刻み込んでください。</p> <p>本当に必要な工事ですか？本当に議員は議会でもとまなディベートしてますか？居眠りしている議員は本当にいませんか？</p> <p>会期中にほとんど発言しない議員は本当にいませんか？市民よりもまず見直すべきなのは、身内の人間なのではないですか？</p> <p>市民の長としてたつなら、市民の生の声をよりたくさん聞いてください。</p> <p>子どもが、大人になったときどう思うか、考えてください。</p> | <p>「市長公約との関係」の回答は、3. 全体的な意見に対する市の考え方(3) を参照して下さい。</p> |